三重大学

学生総合支援機構

Mie University Organization for Student Affairs

2022年度 報告書

MIE UNIVERSITY

目次

Ⅰ 学生総合支援機構

・組織図 …… 01

・学生総合支援機構運営会議　委員名簿 …… 02

・学生委員会　委員名簿 …… 03

Ⅱ 修学支援センター

・活動報告 …… 04

・奨学生数 …… 06

・入学料免除者数 …… 07

・授業料免除者数 …… 08

・学生寄宿舎入寮許可状況 …… 09

・学生保険の加入について …… 10

Ⅲ キャリアセンター

・活動報告 …… 12

・就職状況 …… 17

Ⅳ 学生活動センター

・活動報告 …… 19

・クラブ・サークル一覧（体育系・文化系） …… 20

Ⅴ 学生相談センター

・活動報告 …… 22

Ⅵ 障害学生支援センター

・活動報告 …… 27

・三重大学障害学生支援セミナー2022 実施報告 …… 29

Ⅶ SA（スチューデント・アシスタント）

・取り組みを振り返って …… 31

・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド …… 32

Ⅷ 学生総合支援機構主催行事

・学生支援サミット2022 …… 34

Ⅰ 学生総合支援機構

令和4年度　学生総合支援機構　組織図

機構長（教育担当理事）　鶴原　清志

副機構長（教育（学生総合支援）担当副学長）　野崎　哲哉

修学支援センター
- センター長　野崎　哲哉
- 副センター長　長屋　祐一

・奨学金及び入学料・授業料の免除等の経済的支援
・学生寄宿舎の管理
・学生保険（学研災・学研賠等）

キャリアセンター
- センター長　野崎　哲哉
- 副センター長　長屋　祐一
- 副センター長　川中　普晴
- 担当教員　長岡　みか
- 担当教員　杉町　宏
- 担当教員　志垣　智子
- 担当教員　田中　亜紀子
- 担当教員　大日方　真史
- 担当教員　寺島　貴根
- 担当教員　勝崎　裕隆

・キャリア教育
・就職活動支援
・インターンシップ
・地域人材育成教育の推進
・三重創生ファンタジスタ育成

学生活動センター
- センター長　川中　普晴
- 副センター長　鈴木　英一郎
- 担当教員　風間　惇希
- 担当教員　川口　敦子
- 担当教員　森　浩平
- 担当教員　髙橋　護

・課外活動及びボランティア活動支援
・課外活動施設の管理
・学生厚生施設の管理

学生相談センター
- センター長　野崎　哲哉
- 副センター長　鈴木　英一郎
- 担当教員　片岡　三佳
- 担当教員　宮﨑　多恵子

・学生の個人的諸問題の相談及び助言・指導
・助言等に必要な事例の調査・研究
・各学部等との連携・調整
・ハラスメント対策委員会との連携・調整

障害学生支援センター
- センター長　長屋　祐一
- 副センター長　風間　惇希
- 担当教員　小谷　泰一

・合理的配慮に係る助言及び調整
・障害のある学生の相談及び学修支援
・障害のある学生の関係部局等との連絡・調整
・支援学生の養成
・障害のある学生支援に係る調査・研究

学生委員会

学生総合支援機構運営会議

学務部

学生支援チーム
- 学生委員会及び学生総合支援機構運営会議の事務
- 修学支援センターに関する事務
- 学生活動センターに関する事務
- 学生相談センターに関する事務
- 障害学生支援センターに関する事務

キャリア支援チーム
- キャリアセンターに関する事務

令和4年度　学生総合支援機構運営会議　委員名簿

		氏　　名	備　　考
委員	学生総合支援機構長	鶴原　清志	議長 教育担当理事
	学生総合支援機構副機構長 修学支援センター長 キャリアセンター長 学生相談センター長	野崎　哲哉	教育（学生総合支援）担当副学長
	障害学生支援センター長 修学支援センター副センター長 キャリアセンター副センター長	長屋　祐一	学生総合支援担当学長補佐
	学生活動センター長 キャリアセンター副センター長	川中　普晴	学生総合支援・ＩＲ担当学長補佐
	学生活動センター副センター長 学生相談センター副センター長	鈴木　英一郎	
	障害学生支援センター副センター長 学生活動センター	風間　惇希	
	キャリアセンター	長岡　みか	
	キャリアセンター	田中　亜紀子	人文学部
	キャリアセンター	大日方　真史	教育学部
	キャリアセンター	寺島　貴根	工学部
	キャリアセンター	勝崎　裕隆	生物資源学部
	学生活動センター	川口　敦子	人文学部
	学生活動センター	森　浩平	教育学部
	学生活動センター	髙橋　護	工学部
	学生相談センター	片岡　三佳	医学部
	学生相談センター	宮﨑　多恵子	生物資源学部
	障害学生支援センター	小谷　泰一	医学部
	学務部長	森本　修一	
陪席	学生支援課長	大幡　奈津	
	学生支援チーム副課長	伊藤　仁江	
	キャリア支援課長	富島　嘉夫	

令和4年度　学生委員会　委員名簿

		氏　　名	備　　考
委員	学生総合支援機構長	鶴原　清志	議長 教育担当理事
	学生総合支援機構副機構長 修学支援センター長 キャリアセンター長 学生相談センター長	野崎　哲哉	教育（学生総合支援）担当副学長
	人文学部副学部長	豊福　裕二	
	教育学部副学部長	宮岡　邦任	
	医学系研究科副研究科長	成田　正明	
	工学研究科副研究科長	中村　浩次	
	生物資源学研究科副研究科長	神原　淳	
	地域イノベーション学研究科副研究科長	諏訪部　圭太	
	障害学生支援センター長 修学支援センター副センター長 キャリアセンター副センター長	長屋　祐一	学生総合支援担当学長補佐
	学生活動センター長 キャリアセンター副センター長	川中　普晴	学生総合支援・ＩＲ担当学長補佐
	学生活動センター副センター長 学生相談センター副センター長	鈴木　英一郎	
	保健管理センター所長	小林　由直	保健管理担当学長補佐
	国際交流センター長	金子　聡	
	人文学部学生支援委員会委員長	古瀬　啓之	
	教育学部選出委員	瀬戸　美奈子	
	医学部学生委員会委員長	小谷　泰一	
	工学部学生委員会委員長	河内　亮周	
	生物資源学部学生委員会委員長	名田　和義	
	学務部長	森本　修一	
陪席	学生支援課長	大幡　奈津	
	学生支援チーム副課長	伊藤　仁江	
	キャリア支援課長	富島　嘉夫	

Ⅱ 修学支援センター

令和4年度　活動報告

1 修学支援事業（物価高に対する経済的支援）の実施

円安やウクライナ情勢等の国際情勢に端を発する資源価格上昇に伴う物価高の影響により、厳しい生活を余儀なくされている学生に対し、学生生活を送るための食費や修学に必要な消耗品（文房具・教材等）の費用を支援する事業を行った。支援内容は、三重大学生協で使用できる電子マネー（MyicaPay）5千円相当のポイントを付与（生協に加入していない学生には、5千円相当の食料品及び文房具等を配布）。2月と3月に2回の募集を行い、合計207名から申請があり、支援要件を満たす207名に支援を行った。

2 家計急変世帯への緊急支援措置制度による授業料免除の実施

新型コロナウイルス感染症による影響で、家計が急変し授業料の納付が困難となった世帯の学生に対して、緊急支援措置として、令和4年度の授業料免除支援を実施した。前期は全額免除者9名、後期は全額免除者10名、半額免除者1名であった。

3 学業成績等優秀学生の授業料免除制度について

「三重大学学業成績等優秀学生の授業料免除制度に関する規程」を令和4年度に新たに制定し、各研究科の修士課程・博士前期課程・専門職学位課程に在籍する学業成績等が優秀な学生に対し、授業料免除を行った。

4 家計急変による給付奨学金及び貸与奨学金（日本学生支援機構）への対応

家計急変の事由が生じた学生に対し、年間を通じて相談受付及び申請受付を行った。
令和4年度は、家計急変採用給付型奨学金について相談はあったものの、申請をした学生はいなかった。

5 緊急特別無利子貸与型奨学金（日本学生支援機構）への対応

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりアルバイト収入が大幅に減少した学生等を対象とした、「緊急特別無利子貸与型奨学金」について、年間を通じて相談受付及び申請受付を行った。
令和4年度は、申請をした学生はいなかった。

6 三重大学入学特別奨学金制度について

三重大学入学料免除及び徴収猶予取扱規程に基づく入学料免除を申請した者のうち、入学料免除の選考基準相応の免除を受けることができなかった学生を対象に、「三重大学修学支援事業基金」から一人当たり5万円を支給する事業を実施した。
令和4年度については、15名に支援を実施した。（前年度比5名増）

7 学生寄宿舎の改善及び備品

男子学生寄宿舎	補食室の清掃　8室　352千円
	ベッドのマットレスの取替　20枚　399千円
	電子レンジの取替　8台　353千円
	オーブントースターの取替　8台　57千円
	3･4階便所大便器用低圧フラッシュバルブ改修工事　294千円
	乾燥機の取替　4台　317千円
女子学生寄宿舎	ベッドのマットレスの取替　20枚　399千円
	センサーライトの交換及び共同棟のカーテンレールの修繕　75千円
	下駄箱の購入及び既存の下駄箱の棚の増設　130千円
	オーブントースターの取替　6台　42千円
	傘立ての取替　80千円
	階段踊り場網戸取換工事　62千円
国際女子学生寄宿舎	ベッドのマットレスの取替　20枚　399千円
	オーブントースターの取替　4台　28千円

令和4年度　奨学生数

令和5年３月現在

学部等＼区分			在学生数	日本学生支援機構				地方公共団体民間育英団体	入学特別奨学金	合計	在学生に対する百分率
				給付	第一種(無利子)	第二種(有利子)	計				
学部	人文学部		1,122	116	172	103	391	4	0	395	35.2%
	教育学部		823	79	124	82	285	9	0	294	35.7%
	医学部		1,089	69	90	109	268	328	0	596	54.7%
	工学部		1,757	152	222	200	574	16	0	590	33.6%
	生物資源学部		1,116	84	147	111	342	8	0	350	31.4%
大学院	人文社会科学研究科		28		1	0	1	0	0	1	3.6%
	教育学研究科	修士	9		0	1	1	0	0	1	11.1%
		専門	39		4	2	6	1	0	7	17.9%
	医学系研究科	修士	11		0	0	0	0	0	0	0.0%
		前期	32		1	0	1	1	0	2	6.3%
		後期	20		1	0	1	0	0	1	5.0%
		博士	215		2	1	3	0	0	3	1.4%
	工学研究科	前期	492		141	8	149	0	7	156	31.7%
		後期	46		3	0	3	0	0	3	6.5%
	生物資源学研究科	前期	184		61	7	68	5	8	81	44.0%
		後期	38		1	1	2	0	0	2	5.3%
	地域イノベーション学研究科	前期	40		5	0	5	0	0	5	12.5%
		後期	35		1	1	2	0	0	2	5.7%
計			7,096	500	976	626	2,102	372	15	2,489	35.1%

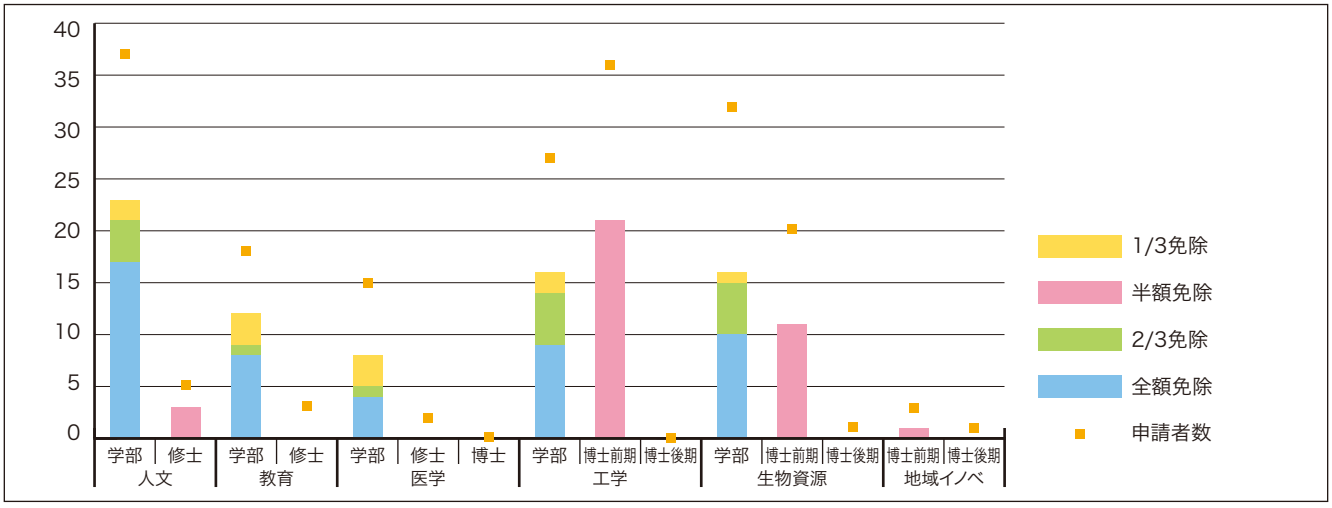
在学生数
R4.5.1現在

令和4年度　入学料免除者数（学部・研究科別）

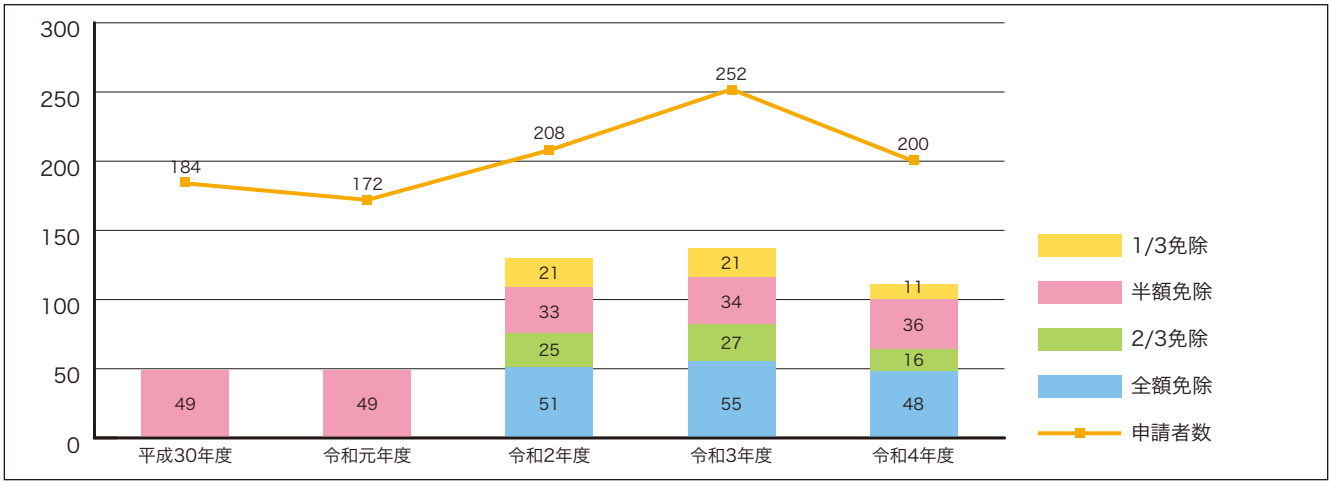
入学料免除

学部・研究科名		申請者数	全額免除	2/3免除	半額免除	1/3免除
人文	学部	37	17	4	−	2
	修士	5	0	−	3	−
教育	学部	18	8	1	−	3
	専門職学位	3	0	−	0	−
医学	学部	15	4	1	−	3
	修士・博士前期	2	0	−	0	−
	博士・博士後期	0	0	−	0	−
工学	学部	27	9	5	−	2
	博士前期	36	0	−	21	−
	博士後期	0	0	−	0	−
生物資源	学部	32	10	5	−	1
	博士前期	20	0	−	11	−
	博士後期	1	0	−	0	−
地域イノベ	博士前期	3	0	−	1	−
	博士後期	1	0	−	0	−
合　計		200	48	16	36	11

令和4年度入学料免除者数



過去5年間の三重大学における入学料免除者数（平成30年度～令和4年度）

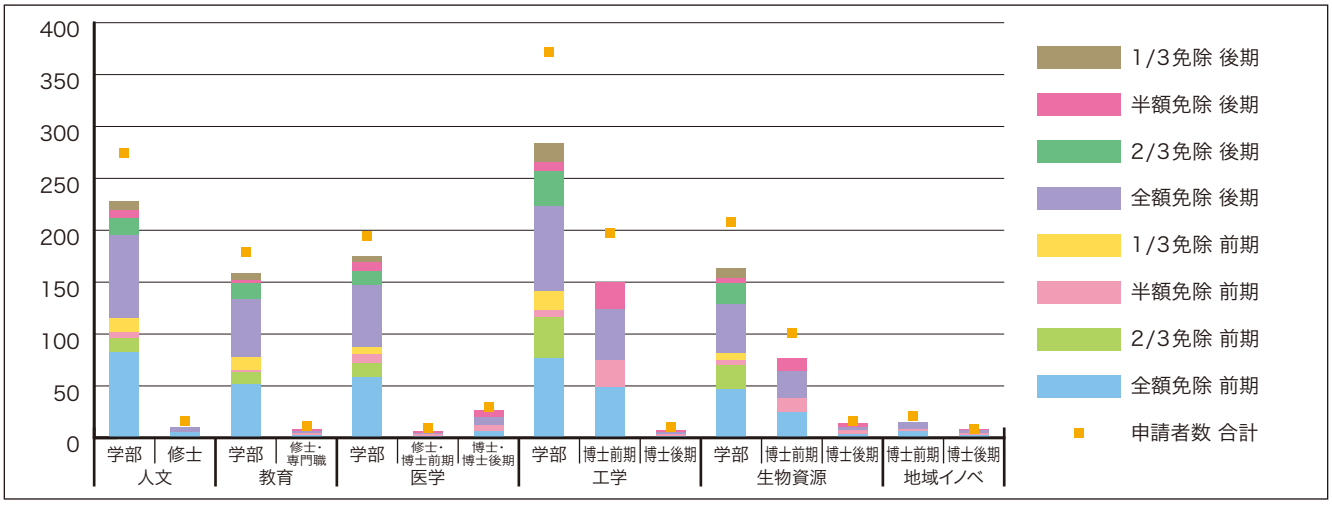


令和4年度　授業料免除者数（学部・研究科別）

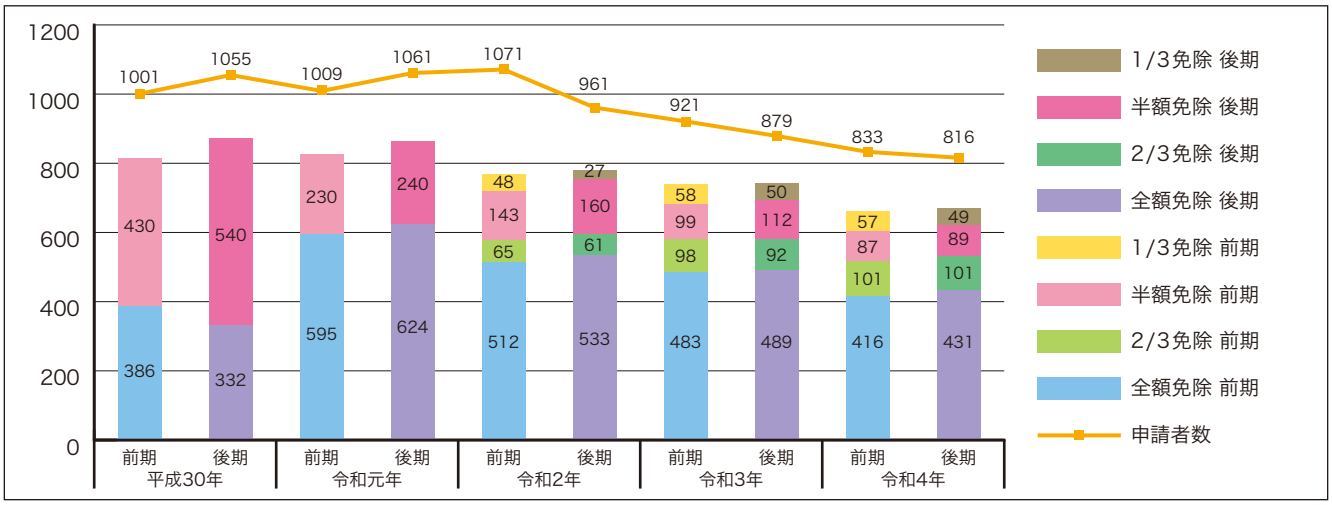
授業料免除

学部・研究科名		申請者数			全額免除		2/3免除		半額免除		1/3免除		免除者計	
		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	139	136	275	82	80	14	17	6	7	13	9	115	113
	修士	8	8	16	5	5	-	-	0	0	-	-	5	5
教育	学部	91	89	180	52	55	11	16	2	3	13	6	78	80
	修士・専門職	4	6	10	2	2	-	-	2	2	-	-	4	4
医学	学部	99	96	195	58	60	14	14	8	8	7	6	87	88
	修士・博士前期	5	4	9	1	1	-	-	2	2	-	-	3	3
	博士・博士後期	14	16	30	6	8	-	-	6	6	-	-	12	14
工学	学部	187	185	372	77	82	39	34	7	8	18	19	141	143
	博士前期	99	97	196	49	49	-	-	26	26	-	-	75	75
	博士後期	5	5	10	1	2	-	-	2	2	-	-	3	4
生物資源	学部	110	99	209	47	48	23	20	5	5	6	9	81	82
	博士前期	50	51	101	25	26	-	-	13	13	-	-	38	39
	博士後期	8	8	16	3	3	-	-	4	4	-	-	7	7
地域イノベ	博士前期	9	12	21	6	7	-	-	2	2	-	-	8	9
	博士後期	5	4	9	2	3	-	-	2	1	-	-	4	4
合　計		833	816	1,649	416	431	101	101	87	89	57	49	661	670

令和4年度授業料免除者数



過去5年間の三重大学における授業料免除者数（平成30度年～令和4年度）



令和4年度　学生寄宿舎入寮許可状況

男子学生寄宿舎

定員:109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
前期試験合格者対象（注1）	51	16	16	
後期試験合格者対象（注2）	35	4	4	1名辞退

女子学生寄宿舎

定員:60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
前期試験合格者対象（注1）	30	29	29	
後期試験合格者対象（注2）	4	5	4	

（注１）　AO 推薦入学試験合格者及び編入学試験合格者を含む
（注２）　編入学試験合格者を含む

国際女子学生寄宿舎

定員:日本人学生50名 留学生25名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
日本人学生（2年生転寮）	15	15	15	
留学生	25	1	1	

留学生会館

定員:35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
単身室（30人）	前期	2	2	2	
	後期	18	18	18	
夫婦室（5室）	前期	2	2	2	
	後期	0	0	0	

留学生寄宿舎A棟

定員:34名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
単身室（34人）	前期	34	34	34	
	後期	25	25	25	

留学生寄宿舎B棟

定員:35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
単身室（35人）	前期	35	35	35	
	後期	12	12	12	

留学生寄宿舎C・D棟

定員:85名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
単身室（29人）※	前期	29	28	28	
	後期	6	6	6	
4人部屋（56人）	前期	35	35	35	
	後期	30	30	30	

※C棟の留学生用単身室は9部屋。C棟には他に研究者用単身室が6部屋ある。

令和4年度　学生保険の加入について

学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

令和4年度

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		273	207	75.8%
教育学部		200	153	76.5%
医学部		204	195	95.6%
工学部		433	352	81.3%
生物資源学部		279	198	71.0%
学部計		1,389	1,105	79.6%
人文社会科学研究科		9	4	44.4%
教育学研究科		21	15	71.4%
医学系研究科	生命医科学専攻(博士課程)	33	12	36.4%
	看護学専攻(博士後期課程)	3	1	33.3%
	看護学専攻(博士前期課程)	7	5	71.4%
	医科学専攻(修士課程)	6	4	66.7%
工学研究科	(博士後期課程)	5	2	40.0%
	(博士前期課程)	240	163	67.9%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	9	8	88.9%
	(博士前期課程)	94	57	60.6%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	7	5	71.4%
	(博士前期課程)	20	16	80.0%
大学院計		454	292	64.3%
合計		1,843	1,397	75.8%

学研災付帯学生生活総合保険

令和4年度

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		273	4	1.5%
教育学部		200	4	2.0%
医学部		204	11	5.4%
工学部		433	6	1.4%
生物資源学部		279	8	2.9%
学部計		1,389	33	2.4%
人文社会科学研究科		9	3	33.3%
教育学研究科		21	1	4.8%
医学系研究科	生命医科学専攻(博士課程)	33	1	3.0%
	看護学専攻(博士後期課程)	3	0	0.0%
	看護学専攻(博士前期課程)	7	0	0.0%
	医科学専攻(修士課程)	6	0	0.0%
工学研究科	(博士後期課程)	5	0	0.0%
	(博士前期課程)	240	6	2.5%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	9	0	0.0%
	(博士前期課程)	94	4	4.3%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	7	0	0.0%
	(博士前期課程)	20	1	5.0%
大学院計		454	16	3.5%
合計		1,843	49	2.7%

大学生協の学生総合共済

令和4年度

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		273	169	61.9%
教育学部		200	129	64.5%
医学部		204	134	65.7%
工学部		433	282	65.1%
生物資源学部		279	205	73.5%
学部計		1,389	919	66.2%
人文社会科学研究科		9	1	11.1%
教育学研究科		21	7	33.3%
医学系研究科	生命医科学専攻(博士課程)	33	1	3.0%
	看護学専攻(博士後期課程)	3	0	0.0%
	看護学専攻(博士前期課程)	7	1	14.3%
	医科学専攻(修士課程)	6	0	0.0%
工学研究科	(博士後期課程)	5	0	0.0%
	(博士前期課程)	240	151	62.9%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	9	1	11.1%
	(博士前期課程)	94	72	76.6%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	7	0	0.0%
	(博士前期課程)	20	11	55.0%
大学院計		454	245	54.0%
合計		1,843	1,164	63.2%

学研災・学研賠又は大学生協保険の加入者について

令和4年度

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		273	258	94.5%
教育学部		200	200	100.0%
医学部		204	201	98.5%
工学部		433	417	96.3%
生物資源学部		279	276	98.9%
学部計		1,389	1,352	97.3%
人文社会科学研究科		9	5	55.6%
教育学研究科		21	16	76.2%
医学系研究科	生命医科学専攻(博士課程)	33	12	36.4%
	看護学専攻(博士後期課程)	3	1	33.3%
	看護学専攻(博士前期課程)	7	5	71.4%
	医科学専攻(修士課程)	6	4	66.7%
工学研究科	(博士後期課程)	5	3	60.0%
	(博士前期課程)	240	197	82.1%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	9	9	100.0%
	(博士前期課程)	94	87	92.6%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	7	5	71.4%
	(博士前期課程)	20	19	95.0%
大学院計		454	363	80.0%
合計		1,843	1,715	93.1%

Ⅲ キャリアセンター

令和4年度　活動報告

1 キャリア教育科目について

キャリア教育領域

科目群	授業科目・単位		(分野H26年度以前入学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
						前期	後期	
キャリア教育基礎	キャリア教育入門	2単位	社会	キャリア形成	長岡　みか	水5・6	—	受講人数制限(80名)
			社会	キャリア形成	杉町　宏	木9・10	—	受講人数制限(80名)
			社会	キャリア形成	杉町　宏	金5・6	—	受講人数制限(80名)
			社会	キャリア形成	長岡　みか	—	水5・6	受講人数制限(80名)
			社会	キャリア形成	杉町　宏	—	木9・10	受講人数制限(80名)
			社会	キャリア形成	杉町　宏	—	金5・6	受講人数制限(80名)
	インターンシップ入門	2単位	社会	インターンシップ	長岡　みか	水7・8	—	受講人数制限(80名)
			社会	インターンシップ	杉町　宏	金7・8	—	受講人数制限(80名)
			社会	インターンシップ	長岡　みか	—	水7・8	受講人数制限(80名)
			社会	インターンシップ	杉町　宏	—	金7・8	受講人数制限(80名)
学生支援	ピアサポート実践	2単位	社会	ピアサポート実践	鈴木　英一郎 他	金9・10	—	
			社会	ピアサポート実践	風間　惇希 他	—	金9・10	
	学生生活支援実践	2単位	社会	学生生活支援実践	鈴木　英一郎	—	金7・8	
	学習支援実践	2単位	社会	学習支援の企画と実践	風間　惇希	水9・10	—	
就業力育成	ビジネスキャリア入門	2単位	社会	ビジネスキャリア	杉町　宏	水9・10	—	受講人数制限(80名)
			社会	ビジネスキャリア	杉町　宏	—	水9・10	受講人数制限(80名)

キャリア教育関連教養統合科目

地域理解・日本理解領域

科目群	授業科目・単位		(分野H26年度以前入学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
						前期	後期	
日本理解特殊講義	日本理解特殊講義	2単位	社会	起業マインドの醸成	松岡　守 他	—	金3・4	オムニバス方式
			社会	地域の仕事を知る	西村　訓弘 他	月7・8	—	オムニバス方式

国際理解・現代社会理解領域

科目群	授業科目・単位		(分野H26年度以前入学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
						前期	後期	
心理学	こころのサポート	2単位	社会	こころのサポート	望木　郁代	水3・4	—	受講人数制限(65名)
			社会	こころのサポート	風間　惇希	水5・6	—	
			社会	こころのサポート	望木　郁代	—	月3・4	受講人数制限(65名)
			社会	こころのサポート	鈴木　英一郎	—	木9・10	
国際理解実践	国際理解実践	2単位	社会	留学生支援実践	風間　惇希	—	水9・10	
現代社会理解実践	現代社会理解実践	2単位	社会	障がい学生支援実践	風間　惇希 他	—	火3・4	オムニバス方式 受講人数制限(100名)

オムニバス方式　授業内容を分担して複数の教員が担当する授業。

2 インターンシップ

令和4年度 インターンシップ参加者数(所属学部・研究科別／学年別)

【延べ数】　　2023.3.31現在

所属	学部生					大学院生			合計
	1年	2年	3年	4年	小計	修士	博士	小計	
人文学部	10	76	315	8	409	1		1	410
教育学部			17		17			0	17
医学部					0			0	0
工学部		1	146	30	177	44		44	221
生物資源学部	15	45	166	1	227	17		17	244
地域イノベーション学研究科	-	-	-	-	0	11		11	11
非正規生					0			0	0
合計	25	122	644	39	830	73	0	73	903

■ 企業等受入数(実数)　274機関
■ 事前研修会　671名
■ 事後研修会　487名

3 就職活動支援

(1)就職ガイダンス

・令和4年4月～令和5年3月　29回実施

・参加学生数　延べ 8,206人(2023.3.31)

NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	参加者数	講師
1	4月13日	水	16:20～18:20	WEB(ZOOM)	①キャリアセンタースタートアップガイダンス ②就職活動スケジュール・準備について概要	396	キャリアセンター・マイナビ
	4月15日	金		WEB(ZOOM)		401	
2	4月20日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	公務員対策講座	146	キャリアセンター
3	5月上旬		通年	WEB(moodle)	インターンシップ先の探し方講座	205	キャリアセンター
4	5月上旬		通年	WEB(moodle)	インターンシップ履歴書対策講座	532	キャリアセンター
5	5月13日	金	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	インターンシップに向けた業界研究講座	238	マイナビ
	5月18日	水				252	
6	5月25日	水	16:20～18:00	WEB(ZOOM)	インターンシップ学内企業説明会 (協定締結企業 15社程度×4日程)	237	キャリアセンター
	5月27日	金				199	
	6月1日	水				242	
	6月3日	金				191	
7	6月8日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	自己分析対策講座(SPI性格検査)	289	リクルート
8	6月15日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	筆記試験対策講座	191	キャリタス
9	7月6日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	GD対策講座	146	マイナビ
10	6月下旬～		通年	WEB(moodle)	インターンシップ事前研修会(人文学部)	671	各学部 キャリアセンター
					インターンシップ事前研修会(工学部)		
					インターンシップ事前研修会 (生物資源学部)		
					インターンシップ事前研修会 (教育学部・医学部)		
11	10月1日	土	13:00～13:40	WEB (OCANS/ZOOM)	保護者様向け就職活動説明会	421 (内オンデマンド視聴141)	キャリアセンター
			14:00～		学部別保護者様向け説明会	646 (内オンデマンド視聴347)	各学部
12	10月14日	金	16:20～17:50	メープル館	就活裏話　～採用活動のリアルな今～	30	アール・コンサルティング
	10月19日	水	16:20～17:50	メープル館		32	
13	10月21日	金	16:30～18:00	WEB(ZOOM)	インターンシップ事後研修会(人文学部)	95	各学部 キャリアセンター
	11月8日	火		WEB(ZOOM)		100	

NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	参加者数	講師
13	11月1日	火	16:30～18:00	WEB(ZOOM)	インターンシップ事後研修会(工学部)	65	各学部 キャリアセンター
	11月9日	水		WEB(ZOOM)		26	
	10月18日	火	16:30～18:00	WEB(ZOOM)	インターンシップ事後研修会 (生物資源学部)	47	
	11月14日	月		WEB(ZOOM)		70	
14	10月21日	金	18:00～19:00	WEB(ZOOM)	就職もやもや部屋	8	キャリタス
	10月25日	火	12:10～12:50			10	
15	10月26日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	エントリーシート対策(自己PR・志望動機)	92	マイナビ
	10月28日	金				51	
16	11月2日	水	14:40～17:20	WEB(ZOOM)	業界研究セミナー　30社 就職支援講座(人文)共催	143	キャリアセンター
	11月16日	水				170	
17	11月4日	金	13:00～16:00	WEB(ZOOM)	オンライン仕事体験　～仕事について不安があり、 就活・インターンシップに進めない学生の対策講座～	11	キャリアセンター・ エンカレッジ
18	11月9日	水	16:20～17:20	WEB(ZOOM)	1・2年生向けガイダンス 「キャリアデザイン講座」	18	学情
19	11月18日	金	14:40～18:10	WEB(ZOOM)	業界研究セミナー　30社 セミナー内にて業界研究講座(リクナビ)開催	57	キャリアセンター・ リクナビ
	11月22日	火				57	
20	12月7日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	GD対策講座	49	マイナビ
21	12月13日	火	12:10～12:50	WEB(ZOOM)	就職もやもや部屋　～面接攻略編～	8	キャリタス
22	1月11日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	面接対策講座	106	マイナビ
23	1月18日	水	16:30～19:10	WEB(ZOOM)	公務員業務説明会	108	キャリアセンター
	1月20日	金		WEB(ZOOM)	公務員業務説明会	105	キャリアセンター
24	1月25日	水	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	就職活動直近ガイダンス(CC;学内企業説明会 まわりかた講座+企業研究ノウハウ含む)、	73	ジェイ・ブロード
	1月27日	金				46	
25	2月13日	月	16:20～17:50	WEB(ZOOM)	インターンシップ事後研修会(全学部)	43	各学部 キャリアセンター
26	2月14日～ 2月16日	火～木	11:00～16:10	教養教育校舎3号館	学内企業研究会　256社	560	ジェイ・ブロード
27	2月17日	金	12:30～13:00	WEB(ZOOM)	就職もやもや部屋　～就活直前対策～	15	キャリタス
28	2月20日	月	14:00～15:10	生物資源学部2F 大講義室	生物資源学総まとめ講座(エントリーシート編)	34	リクルート
			15:20～16:20		生物資源学総まとめ講座(企業研究編)	31	
			16:30～17:00		生物資源学総まとめ講座(面接編)	37	
29	3月1日～ 3月3日	水～金	終日	WEB(ZOOM)	学内企業説明会　160社	506	キャリアセンター

(2)ミニ講座(少人数制：個人面接・集団面接・グループディスカッション対策)

・令和4年4月～令和5年3月　11回実施　ZOOM・セミナー室他

・参加学生数　延べ62人

	実施日	内容	参加数		実施日	内容	参加数
1	4月8日	個人面接対策(オンライン)	6	8	2月10日	個人面接対策(対面)	4
2	4月25日	個人面接対策(オンライン)	6	9	2月17日	個人面接対策(オンラインと対面)	6
3	6月22日	個人面接対策(オンラインと対面)	6	10	2月21日	個人面接対策(オンラインと対面)	6
4	6月29日	個人面接対策(オンライン)	6	11	3月7日	個人面接対策(オンラインと対面)	6
5	7月20日	個人面接対策(対面)	6	12	3月22日	個人面接対策(オンラインと対面)	
6	7月28日	個人面接対策(オンライン)	5	13	3月29日	個人面接対策(オンラインと対面)	
7	1月20日	個人面接対策(オンラインと対面)	5				
計							62

(3)就職相談

・キャリアカウンセラー就職相談〔就職相談コーナー〕

【月別・相談内容別件数】

その他(送付状・お礼状・E-mail作成)

延べ数

	就職相談	進路決定相談	内定・内内定の相談	履歴書作成	エントリーシート作成	志望動機	自己PR	面接		自己分析	その他	合計
4月	34	2	15	3	51	0	1	118	0	0	0	224
5月	42	0	19	4	49	0	3	98	0	0	0	215
6月	38	1	10	0	90	2	1	98	1	0	3	244
7月	38	1	4	4	61	0	0	102	0	0	3	213
8月	37	3	5	1	49	0	0	49	0	1	2	147
9月	24	1	7	1	32	1	0	40	1	3	4	114
10月	46	3	2	7	52	0	0	48	0	2	0	160
11月	45	0	3	2	71	0	4	78	0	0	0	203
12月	33	3	4	2	69	3	5	65	0	1	1	186
1月	37	0	1	2	94	1	4	98	0	2	1	240
2月	47	2	4	4	110	2	5	108	0	9	1	292
3月	63	1	9	4	132	8	4	114	0	4	4	343
合計	484	17	83	34	860	17	27	1,016	2	22	19	2,581

4 キャリアピアサポーター

■ 令和4年度(前期)資格認定者

上級　2人
初級　5人
CPS　7人
SA　2人

■ 令和4年度(後期)資格認定者

上級　3人
初級　7人
CPS　9人
SA　5人

合計　40人

令和 4 年度 就職状況について

【地域別就職状況及び就職率】

令和5年5月1日現在

区分			卒業・修了者	卒業・修了者の内訳											就職率(%) (就職希望者に占める就職者の割合)			
				進学者	臨床研修医	その他	うち未内定者	就職者	三重県	愛知県	東海地方(静岡・岐阜)	関東地方	近畿地方	その他	令和4年度 就職率(%)	令和4年度 対前年度増減(%)	(参考) 令和3年度 就職率(%)	(参考) 令和2年度 就職率(%)
学部	人文学部	文化学科	96 (64)	9 (6)	( )	2 ( )	1 ( )	85 (58)	29 (17)	25 (18)	4 (4)	16 (9)	7 (6)	4 (4)	98.8 (100.0)	3.3 (2.9)	95.5 (97.1)	92.6 (91.8)
		法律経済学科	179 (76)	2 ( )	( )	15 (6)	6 (4)	162 (70)	35 (14)	65 (27)	5 (2)	34 (15)	13 (8)	10 (4)	96.4 (94.6)	△ 1.8 (△ 5.4)	98.2 (100.0)	97.7 (98.8)
		計	275 (140)	11 (6)	( )	17 (6)	7 (4)	247 (128)	64 (31)	90 (45)	9 (6)	50 (24)	20 (14)	14 (8)	97.2 (97.0)	△ 0.1 (△ 1.7)	97.3 (98.7)	95.8 (95.9)
	教育学部	学校教育教員養成課程	201 (130)	12 (5)	( )	6 (4)	3 (2)	183 (121)	102 (67)	44 (32)	6 (4)	12 (8)	15 (8)	4 (2)	98.4 (98.4)	△ 1.1 (△ 0.7)	99.5 (99.1)	98.4 (99.1)
		計	201 (130)	12 (5)	( )	6 (4)	3 (2)	183 (121)	102 (67)	44 (32)	6 (4)	12 (8)	15 (8)	4 (2)	98.4 (98.4)	△ 1.1 (△ 0.7)	99.5 (99.1)	97.9 (98.3)
	医学部	医学科	126 (39)	( )	123 (39)	3 ( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)
		看護学科	78 (75)	( )	( )	( )	( )	78 (75)	55 (53)	16 (15)	( )	2 (2)	4 (4)	1 (1)	100.0 (100.0)	1.3 (1.3)	98.7 (98.7)	100.0 (100.0)
		計	204 (114)	( )	123 (39)	3 ( )	( )	78 (75)	55 (53)	16 (15)	( )	2 (2)	4 (4)	1 (1)	100.0 (100.0)	1.3 (1.3)	98.7 (98.7)	100.0 (100.0)
	工学部	機械工学科	9 ( )	4 ( )	( )	( )	( )	5 ( )	2 ( )	2 ( )	( )	( )	1 ( )	( )	100.0 (–)	(–)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		電気電子工学科	11 ( )	2 ( )	( )	1 ( )	( )	8 ( )	2 ( )	2 ( )	( )	( )	2 ( )	2 ( )	100.0 (–)	3.3 (–)	96.7 (100.0)	100.0 (100.0)
		分子素材工学科	2 ( )	1 ( )	( )	( )	( )	1 ( )	( )	1 ( )	( )	( )	( )	( )	100.0 (–)	(–)	100.0 (100.0)	96.4 (100.0)
		建築学科	8 (2)	1 ( )	( )	( )	( )	7 (2)	( )	1 ( )	( )	3 ( )	3 (2)	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	96.9 (100.0)
		情報工学科	7 ( )	1 ( )	( )	2 ( )	2 ( )	4 ( )	( )	( )	( )	4 ( )	( )	( )	66.7 (–)	△ 29.7 (–)	96.4 (100.0)	89.3 (66.7)
		物理工学科	3 ( )	1 ( )	( )	2 ( )	1 ( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(–)	△ 100.0 (–)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		総合工学科 機械工学コース	83 (4)	61 (4)	( )	1 ( )	( )	21 ( )	4 ( )	7 ( )	1 ( )	6 ( )	3 ( )	( )	100.0 (–)	– (–)	– (–)	– (–)
		総合工学科 電気電子工学コース	91 (2)	61 (1)	( )	1 (1)	1 (1)	29 ( )	7 ( )	8 ( )	2 ( )	9 ( )	2 ( )	1 ( )	96.7 ( )	– (–)	– (–)	– (–)
		総合工学科 応用化学コース	98 (32)	70 (20)	( )	4 ( )	2 ( )	24 (12)	5 (3)	8 (3)	( )	6 (3)	4 (2)	1 (1)	92.3 (100.0)	– (–)	– (–)	– (–)
		総合工学科 建築学コース	51 (11)	22 (2)	( )	1 (1)	( )	28 (8)	1 (1)	8 (2)	( )	10 (3)	7 ( )	2 (2)	100.0 (100.0)	– (–)	– (–)	– (–)
		総合工学科 情報工学コース	48 (11)	27 (3)	( )	( )	( )	21 (8)	1 (1)	10 (2)	1 ( )	7 (3)	2 (2)	( )	100.0 (100.0)	– (–)	– (–)	– (–)
		計	411 (62)	251 (30)	( )	12 (2)	6 (1)	148 (30)	22 (5)	47 (7)	4 ( )	45 (9)	24 (6)	6 (3)	96.1 (96.8)	△ 2.5 (△ 3.2)	98.6 (100.0)	97.1 (97.4)
	生物資源学部	資源循環学科	71 (28)	20 (8)	( )	2 ( )	1 ( )	49 (20)	11 (3)	10 (6)	3 (1)	17 (6)	6 (3)	2 (1)	98.0 (100.0)	△ 2.0 ( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		共生環境学科	72 (23)	23 (4)	( )	1 ( )	1 ( )	48 (19)	10 (4)	15 (7)	5 (1)	9 (3)	7 (4)	2 ( )	98.0 (100.0)	△ 2.0 ( )	100.0 (100.0)	96.3 (100.0)
		生物圏生命化学科	82 (51)	48 (28)	( )	1 ( )	1 ( )	33 (23)	7 (5)	10 (8)	6 (2)	10 (8)	( )	( )	97.1 (100.0)	△ 0.5 ( )	97.6 (100.0)	100.0 (100.0)
		海洋生物資源学科	40 (13)	22 (8)	( )	1 ( )	1 ( )	17 (5)	3 ( )	4 (1)	1 (1)	6 (3)	3 ( )	( )	94.4 (100.0)	△ 0.8 ( )	95.2 (100.0)	92.3 (100.0)
		計	265 (115)	113 (48)	( )	5 ( )	4 ( )	147 (67)	31 (12)	39 (22)	15 (5)	42 (20)	16 (7)	4 (1)	97.4 (100.0)	△ 1.3 ( )	98.7 (100.0)	98.2 (100.0)
	合計		1,356 (561)	387 (89)	123 (39)	43 (12)	20 (7)	803 (421)	274 (168)	236 (121)	34 (15)	151 (63)	79 (39)	29 (15)	97.6 (98.4)	△ 0.8 (△ 0.7)	98.4 (99.1)	97.4 (98.1)
大学院	人文社会科学研究科	地域文化論専攻(修士課程)	3 (3)	( )	( )	3 (3)	1 (1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	△ 66.7 (△ 100.0)	66.7 (100.0)	33.3 (–)
		社会科学専攻(修士課程)	6 (5)	1 (1)	( )	2 (2)	( )	3 (2)	2 (1)	( )	( )	1 (1)	( )	( )	100.0 (100.0)	25.0 (50.0)	75.0 (50.0)	100.0 (100.0)
		計	9 (8)	1 (1)	( )	5 (5)	1 (1)	3 (2)	2 (1)	( )	( )	1 (1)	( )	( )	75.0 (66.7)	5.0 (△ 13.3)	70.0 (80.0)	66.7 (50.0)
	教育学研究科	教育科学専攻(修士課程)	6 (4)	( )	( )	( )	( )	6 (4)	4 (3)	( )	( )	( )	1 (1)	1 ( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	94.4 (100.0)
		教職実践高度化専攻(専門職学位課程)	17 (4)	( )	( )	( )	( )	17 (4)	15 (3)	1 ( )	( )	1 (1)	( )	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		計	23 (8)	( )	( )	( )	( )	23 (8)	19 (6)	1 ( )	( )	1 (1)	1 (1)	1 ( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	96.6 (100.0)
	医学系研究科	医科学専攻(修士課程)	1 ( )	( )	( )	( )	( )	1 ( )	1 ( )	( )	( )	( )	( )	( )	100.0 (–)	(–)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		看護学専攻(博士課程前期)	9 (7)	1 ( )	( )	( )	( )	8 (7)	7 (6)	1 (1)	( )	( )	( )	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		看護学専攻(博士課程後期)	3 (3)	( )	( )	1 (1)	1 (1)	2 (2)	( )	2 (2)	( )	( )	( )	( )	66.7 (66.7)	△ 33.3 (△ 33.3)	100.0 (100.0)	– (–)
		生命医科学専攻(博士課程)	46 (12)	( )	( )	1 ( )	1 ( )	45 (12)	38 (11)	1 ( )	( )	1 ( )	( )	5 (1)	97.8 (100.0)	△ 2.2 ( )	100.0 (100.0)	97.3 (100.0)
		計	59 (22)	1 ( )	( )	2 (1)	2 (1)	56 (21)	46 (17)	4 (3)	( )	1 ( )	( )	5 (1)	96.6 (95.5)	△ 3.4 (△ 4.5)	100.0 (100.0)	97.9 (100.0)
	工学研究科	機械工学専攻	50 ( )	2 ( )	( )	1 ( )	( )	47 ( )	1 ( )	22 ( )	3 ( )	10 ( )	9 ( )	2 ( )	100.0 (–)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		電気電子工学専攻	50 (3)	1 ( )	( )	2 (1)	( )	47 (2)	4 ( )	16 ( )	1 ( )	17 (1)	8 ( )	1 (1)	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		分子素材工学専攻	63 (8)	1 (1)	( )	1 ( )	( )	61 (7)	6 (1)	28 (5)	5 ( )	14 ( )	8 (1)	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	98.2 (100.0)
		建築学専攻	13 (4)	( )	( )	( )	( )	13 (4)	1 ( )	2 (1)	( )	6 (3)	4 ( )	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		情報工学専攻	30 (2)	1 ( )	( )	3 (1)	1 ( )	26 (1)	( )	10 ( )	( )	11 (1)	4 ( )	1 ( )	96.3 (100.0)	5.4 ( )	90.9 (100.0)	100.0 (100.0)
		物理工学専攻	17 (2)	1 ( )	( )	( )	( )	16 (2)	1 ( )	10 (2)	( )	3 ( )	2 ( )	( )	100.0 (100.0)	9.1 (–)	90.9 (–)	100.0 (–)
		計(博士前期)	223 (19)	6 (1)	( )	7 (2)	1 ( )	210 (16)	13 (1)	88 (8)	9 ( )	61 (5)	35 (1)	4 (1)	99.5 (100.0)	0.5 ( )	99.0 (100.0)	99.5 (100.0)
		材料科学専攻	3 (1)	( )	( )	( )	( )	3 (1)	( )	( )	1 ( )	1 (1)	1 ( )	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (–)
		システム工学専攻	5 (3)	( )	( )	1 (1)	1 (1)	4 (2)	1 ( )	( )	( )	1 (1)	( )	2 (1)	80.0 (66.7)	△ 20.0 (△ 33.3)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		計(博士後期)	8 (4)	( )	( )	1 (1)	1 (1)	7 (3)	1 ( )	( )	1 ( )	2 (2)	1 ( )	2 (1)	87.5 (75.0)	△ 12.5 (△ 25.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
	生物資源学研究科	資源循環学専攻	14 (7)	2 (1)	( )	( )	( )	12 (6)	2 (1)	3 ( )	( )	4 (3)	1 (1)	2 (1)	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		共生環境学専攻	16 (5)	1 (1)	( )	( )	( )	15 (4)	2 ( )	3 ( )	1 ( )	5 (2)	4 (2)	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	88.9 (80.0)
		生物圏生命科学専攻	49 (20)	5 (3)	( )	( )	( )	44 (17)	6 (3)	9 (4)	1 ( )	18 (6)	9 (4)	1 ( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	96.2 (100.0)
		計(博士前期)	79 (32)	8 (5)	( )	( )	( )	71 (27)	10 (4)	15 (4)	2 ( )	27 (11)	14 (7)	3 (1)	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	95.2 (93.3)
		資源循環学専攻	1 (1)	( )	( )	( )	( )	1 (1)	1 (1)	( )	( )	( )	( )	( )	100.0 (100.0)	(–)	100.0 (–)	100.0 (100.0)
		共生環境学専攻	5 (2)	( )	( )	1 ( )	1 ( )	4 (2)	( )	( )	1 ( )	( )	( )	3 (2)	80.0 (100.0)	△ 20.0 (–)	100.0 (–)	100.0 (100.0)
		生物圏生命科学専攻	1 ( )	( )	( )	( )	( )	1 ( )	( )	( )	( )	1 ( )	( )	( )	100.0 (–)	(–)	100.0 (–)	100.0 (–)
		計(博士後期)	7 (3)	( )	( )	1 ( )	1 ( )	6 (3)	1 (1)	( )	1 ( )	1 ( )	( )	3 (2)	85.7 (100.0)	△ 14.3 (–)	100.0 (–)	100.0 (100.0)
	地域イノベーション学研究科	地域イノベーション学専攻(博士前期)	12 (6)	2 (2)	( )	2 ( )	1 ( )	8 (4)	2 (1)	2 (1)	( )	4 (2)	( )	( )	88.9 (100.0)	△ 11.1 ( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		計	12 (6)	2 (2)	( )	2 ( )	1 ( )	8 (4)	2 (1)	2 (1)	( )	4 (2)	( )	( )	88.9 (100.0)	△ 11.1 ( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		地域イノベーション学専攻(博士後期)	5 (1)	( )	( )	( )	( )	5 (1)	3 ( )	1 ( )	( )	1 (1)	( )	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		計	5 (1)	( )	( )	( )	( )	5 (1)	3 ( )	1 ( )	( )	1 (1)	( )	( )	100.0 (100.0)	( )	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
	合計		425 (103)	18 (9)	( )	18 (9)	7 (3)	389 (85)	97 (31)	111 (16)	13 ( )	99 (23)	51 (9)	18 (6)	98.2 (96.6)	△ 0.4 (△ 2.2)	98.6 (98.8)	97.8 (97.5)

(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

( )内は、女子学生数を内数で示す。

(注2)就職者には雇用形態『1年以上かつ週30時間未満(短時間勤務)』『1ヶ月以上1年未満』の者も含む。

【産業別就職状況】

令和5年5月1日現在

区分			卒業・修了者	就職者	就職者の内訳																	
					農業、林業 漁業、鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	（内、教員数）	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業	公務	その他
学部	人文学部	文化学科	96（64）	85（58）	（）	1（1）	13（11）	1（）	8（6）	2（）	10（8）	6（2）	1（1）	2（2）	1（1）	2（2）	6（5）	4（3）	6（4）	1（）	2（2）	22（13）	1（）
		法律経済学科	179（76）	162（70）	（）	1（）	14（5）	（）	33（16）	3（）	13（6）	18（10）	2（1）	8（3）	（）	（）	1（1）	（）	4（1）	2（2）	10（4）	52（20）	1（1）
		計	275（140）	247（128）	（）	2（1）	27（16）	1（）	41（22）	5（）	23（14）	24（12）	3（2）	10（5）	1（1）	2（2）	7（6）	4（3）	10（5）	3（2）	12（6）	74（33）	2（1）
	教育学部	学校教育教員養成課程	201（130）	183（121）	1（）	1（）	6（4）	（）	7（5）	（）	2（1）	4（4）	（）	1（1）	1（）	（）	116（68）	112（66）	13（12）	2（2）	2（2）	26（21）	1（1）
		計	201（130）	183（121）	1（）	1（）	6（4）	（）	7（5）	（）	2（1）	4（4）	（）	1（1）	1（）	（）	116（68）	112（66）	13（12）	2（2）	2（2）	26（21）	1（1）
	医学部	医学科	126（39）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		看護学科	78（75）	78（75）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	77（74）	（）	（）	1（1）	（）
		計	204（114）	78（75）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	77（74）	（）	（）	1（1）	（）
	工学部	機械工学科	9（）	5（）	（）	（）	4（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		電気電子工学科	11（）	8（）	（）	1（）	5（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）
		分子素材工学科	2（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		建築学科	8（2）	7（2）	（）	6（1）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		情報工学科	7（）	4（）	（）	（）	（）	（）	4（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		物理工学科	3（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		総合工学科 機械工学コース	83（4）	21（）	（）	（）	16（）	（）	（）	1（）	1（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	2（）	（）
		総合工学科 電気電子工学コース	91（2）	29（）	（）	2（）	19（）	（）	2（）	（）	（）	（）	（）	2（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	3（）	1（）
		総合工学科 応用化学コース	98（32）	24（12）	（）	（）	17（9）	1（）	1（1）	（）	2（）	（）	（）	1（1）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）
		総合工学科 建築学コース	51（11）	28（8）	（）	19（5）	1（1）	（）	（）	1（）	1（1）	（）	1（）	1（）	（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	（）	3（）	（）
		総合工学科 情報工学コース	48（11）	21（8）	（）	（）	6（3）	（）	10（3）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	3（1）	1（1）	（）
		計	411（62）	148（30）	（）	28（6）	68（13）	1（）	18（4）	4（）	6（2）	（）	1（）	5（1）	1（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	3（1）	10（2）	2（）
	生物資源学部	資源循環学科	71（28）	49（20）	1（）	（）	10（4）	（）	3（）	2（1）	7（2）	1（1）	（）	1（）	2（1）	（）	2（2）	2（2）	（）	5（2）	2（1）	13（6）	（）
		共生環境学科	72（23）	48（19）	（）	6（2）	6（4）	（）	2（2）	2（）	1（1）	（）	（）	4（1）	（）	（）	3（1）	1（1）	（）	（）	6（）	18（8）	（）
		生物圏生命化学科	82（51）	33（23）	1（）	2（）	10（7）	（）	1（1）	（）	4（3）	（）	（）	1（1）	（）	1（1）	1（）	1（1）	1（1）	1（1）	3（3）	7（5）	（）
		海洋生物資源学科	40（13）	17（5）	（）	1（1）	1（）	（）	1（）	（）	1（）	（）	（）	4（1）	1（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	2（1）	5（1）	（）
		計	265（115）	147（67）	2（）	9（3）	27（15）	（）	7（3）	4（1）	13（6）	1（1）	（）	10（3）	3（1）	2（2）	6（3）	4（3）	1（1）	6（3）	13（5）	43（20）	（）
	合計		1,356（561）	803（421）	3（）	40（10）	128（48）	2（）	73（34）	13（1）	44（23）	29（17）	4（2）	26（10）	6（2）	5（5）	129（77）	120（72）	101（92）	11（7）	30（14）	154（77）	5（2）
大学院	人文社会科学研究科	地域文化論専攻（修士課程）	3（3）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		社会科学専攻（修士課程）	6（5）	3（2）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）	1（）	（）
		計	9（8）	3（2）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）	1（）	（）
	教育学研究科	教育科学専攻（修士課程）	6（4）	6（4）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	4（2）	4（2）	1（1）	（）	（）	1（1）	（）
		教職実践高度化専攻（専門職学位課程）	17（4）	17（4）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	17（4）	17（4）	（）	（）	（）	（）	（）
		計	23（8）	23（8）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	21（6）	21（6）	1（1）	（）	（）	1（1）	（）
	医学系研究科	医科学専攻（修士課程）	1（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）
		看護学専攻（博士課程前期）	9（7）	8（7）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	1（1）	5（4）	（）	（）	2（2）	（）
		看護学専攻（博士課程後期）	3（3）	2（2）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	1（1）	（）	（）	（）	1（1）	（）
		生命医科学専攻（博士課程）	46（12）	45（12）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	7（2）	2（1）	36（10）	（）	（）	（）	2（）
		計	59（22）	56（21）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	9（4）	4（3）	42（14）	（）	（）	3（3）	2（）
	工学研究科	機械工学専攻	50（）	47（）	（）	（）	40（）	2（）	3（）	1（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		電気電子工学専攻	50（3）	47（2）	1（）	（）	32（2）	3（）	8（）	2（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		分子素材工学専攻	63（8）	61（7）	（）	1（）	57（7）	（）	1（）	（）	1（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		建築学専攻	13（4）	13（4）	（）	4（1）	1（1）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）	6（1）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）
		情報工学専攻	30（2）	26（1）	（）	（）	9（）	（）	16（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		物理工学専攻	17（2）	16（2）	（）	（）	11（1）	（）	4（1）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		計（博士前期）	223（19）	210（16）	1（）	5（1）	150（11）	5（）	32（2）	3（）	2（1）	1（）	（）	9（1）	（）	1（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）
		材料科学専攻	3（1）	3（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	3（1）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）
		システム工学専攻	5（3）	4（2）	（）	（）	2（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	2（1）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）
		計（博士後期）	8（4）	7（3）	（）	（）	2（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	5（2）	2（）	（）	（）	（）	（）	（）
	生物資源学研究科	資源循環学専攻	14（7）	12（6）	（）	（）	1（1）	（）	（）	（）	3（2）	（）	（）	1（1）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	1（）	5（1）	（）
		共生環境学専攻	16（5）	15（4）	（）	1（1）	4（）	（）	4（2）	1（）	1（）	（）	（）	2（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	1（）	（）
		生物圏生命科学専攻	49（20）	44（17）	1（）	（）	26（8）	（）	3（1）	1（）	2（）	（）	（）	3（2）	（）	（）	（）	（）	1（1）	1（）	3（3）	4（2）	（）
		計（博士前期）	79（32）	71（27）	1（）	1（1）	31（9）	（）	7（3）	2（）	6（2）	（）	（）	6（4）	（）	（）	（）	（）	2（2）	（）	5（3）	10（3）	（）
		資源循環学専攻	1（1）	1（1）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	（）	（）
		共生環境学専攻	5（2）	4（2）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	3（2）	2（2）	（）	（）	（）	（）	（）
		生物圏生命科学専攻	1（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		計（博士後期）	7（3）	6（3）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	3（2）	2（2）	（）	（）	1（1）	（）	（）
	地域イノベーション学研究科	地域イノベーション学専攻（博士前期）	12（6）	8（4）	（）	（）	1（）	（）	1（）	（）	2（1）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	1（1）	（）	（）	2（1）	1（1）	（）
		計	12（6）	8（4）	（）	（）	1（）	（）	1（）	（）	2（1）	（）	（）	（）	（）	（）	1（1）	1（1）	（）	（）	2（1）	1（1）	（）
		地域イノベーション学専攻（博士後期）	5（1）	5（1）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	2（）	（）	（）	1（）	1（）	（）	（）	（）	1（1）	（）
		計	5（1）	5（1）	（）	（）	（）	（）	1（）	（）	（）	（）	（）	2（）	（）	（）	1（）	1（）	（）	（）	（）	1（1）	（）
	合計		425（103）	389（85）	2（）	6（2）	185（21）	5（）	42（6）	5（）	10（4）	1（）	（）	18（5）	（）	1（）	40（15）	31（12）	46（18）	1（）	8（5）	17（9）	2（）

（注）博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

（注2）就職者には雇用形態『1年以上かつ週30時間未満（短時間勤務）』『1ヶ月以上1年未満』の者も含む。

（　）内は、女子学生数を内数で示す。

Ⅳ 学生活動センター

令和4年度　活動報告

1 クラブ・サークル活動関係

毎月クラブ・サークル連絡会を開催し、各種注意喚起、連絡を行った。2月22日にクラブ・サークルリーダー研修会を開催し、課外活動代表者の育成を図った。3月15日の連絡会に合わせて馬術部、剣道部、空手道部、卓球部（女子）、吹奏楽団（団体）、馬術部（個人）が輝かしい成績を収めたことが評価され、理事表彰を受けた。

2 課外活動施設の改善及び備品等購入助成

＊テニスコート	人工芝部分張替修繕及び維持管理業務、テニスコートネット
＊サッカー・ラグビー場	防球ネット張替修繕
＊グラウンド	屋外水栓更新
＊弓道場	安土補修
＊プール	濾過機年間点検及び修繕（前期）（後期）
＊第１体育館	女子トイレ手洗い配水管修繕、用具庫照明器具取替、アリーナ内コンセント改修、製氷機修理（２回）
＊第２体育館	製氷機修理、ウォータークーラー修理、カーテン取替
＊屋内運動場	消防設備修繕、カーテン取替
＊第２体育練習場	屋根修理
＊課外活動共用施設	製氷機修理、ウォータークーラー修理
＊永井トレーニングルーム	トレーニング機器保守点検及びマシン修理、入退管理システム再設定調整及びLAN敷設工事、監視カメラ設置、飛沫感染予防カーテン
＊第１食堂	消火器設置工事
＊第２食堂	ホールエアコン修繕、男子トイレ手洗い自動水栓交換
＊その他	草刈機タイヤ交換、馬術部エアコン取替、楽器修理（多数）テント２張、リヤカー４台、チアリーディングマット

3 上浜キャンパス自転車登録制の実施

学内外での自転車マナー向上を目指し、上浜キャンパスに乗り入れる学生の自転車に登録シールを貼付する自転車乗り入れ登録制を引き続き実施した。また、学内における自転車の登録状況の調査を実施した。調査の結果、R4年度3月末の自転車登録台総数は、4,097台であり、前年度より300台減少している。また、放置自転車の一般からの苦情が5件あった。

4 交通安全指導等の実施

例年苦情の多い、歩行者・自転車の通学マナーなどの問題について、春季5月9日～13日（午前8時15分～）、秋季10月17日～21日（午前9時55分～）の30分間、朝の通学ラッシュ時における地域の安全・安心のため，交通マナーの向上を図り、交通事故の防止することを目的として、近鉄江戸橋から三重大学正門までの街頭で学生への交通安全指導を実施した。学生総合支援機構教員、学務部職員、学生ボランティアが、津警察の協力を得て、横断歩道を渡る学生や、自転車による通学生に交通ルール遵守の注意喚起を行った。

令和4年度　クラブ・サークル一覧

体育系・全学

令和4年3月10日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	陸上競技部	29	17	46	28	ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)	24	14	38
2	水泳部	19	10	29	29	ロボコンクラブM3RC	11	1	12
3	硬式野球部	26	0	26	30	スキューバダイビングサークル	42	21	63
4	準硬式野球部	18	4	22	31	天狗ぅ(よさこいサークル)	9	19	28
5	サッカー部	25	1	26	32	サイクリングサークル	9	0	9
6	ラクビー部	12	5	17	33	合気道・武の道	1	2	3
7	アメリカンフットボール部	15	7	22	34	ラインブレイク(釣り・アウトドア)	72	4	76
8	馬術部	5	13	18	35	NEXT(ダンス)	34	51	85
9	硬式テニス部	9	5	14	36	極津(よさこい)	0	14	14
10	ソフトテニス部	29	13	42	37	WILL(テニス)	40	28	68
11	男子ハンドボール部	17	4	21	38	Wild Geese(アウトドア)	146	98	244
12	バレーボール部	16	11	27	39	日本拳法部	6	0	6
13	バスケットボール部	24	14	38	40	電気自動車研究会	4	0	4
14	バトミントン部	10	5	15	41	Links(ソフトテニス)	18	16	34
15	卓球部	26	13	39	42	CHASE(ソフトテニス)	20	11	31
16	ダンス部	11	28	39	43	サバイバルゲームサークル	25	2	27
17	剣道部	31	13	44	44	ITFテコンドーサークル	16	11	27
18	空手道部	7	2	9	45	競技スキー部	12	10	22
19	少林寺拳法部	9	7	16	46	げつバド	14	10	24
20	合気道部	6	7	13	47	MBC	20	4	24
21	ワンダーフォーゲル部	9	1	10	48	HOMESTEAL	45	2	47
22	自動車部	17	0	17	49	蹴る!マッハ(シューマッハ)	97	0	97
23	弓道部	21	15	36	50	三重大学モルックサークル つMöる	6	0	6
24	ヨット部	7	5	12	51	三重大学学生フォーミュラチーム	15	0	15
25	端艇部(カッター部)	3	0	3	52新規	自転車競技部	8	0	8
26	トライアスロン部	11	1	12	53新規	ユニバド	52	30	82
27	応援団	13	16	29	合計(体育系・全学)　53		1171	565	1736

体育系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	医学部サッカー部	31	19	50	11	医学部バレーボール部	19	29	48
2	医水野球部	25	6	31	12	医学部卓球部	31	29	60
3	医学部陸上競技部	23	26	49	13	医学部剣道部	10	9	19
4	医学部ゴルフ部	50	44	94	14	医学部弓道部	22	25	47
5	医学部ラグビー部	16	16	32	15	医学部空手道部	11	7	18
6	医学部ハンドボール部	20	27	47	16	医学部競技スキー部	14	11	25
7	医学部ソフトテニス部	16	20	36	17	医学部水泳部	9	11	20
8	医学部硬式庭球部	31	26	57	18	医学部山岳部	44	18	62
9	医学部バスケットボール部	14	15	29	19新規	合氣道部	3	5	8
10	医学部バドミントン部	25	23	48	合計(体育系・医学部)　19		414	366	780

文化系・全学

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	14	43	57	30	てらこや(国際交流サークル)	7	13	20
2	吹奏楽団	7	37	44	31	Meiku [メイク(地域おこし)]	36	22	58
3	ギターマンドリンクラブ	8	17	25	32	つくしんぼサークル(子供ボランティア)	9	64	73
4	ギタークラブ	1	4	5	33	mil-poa(手芸サークル)	1	23	24
5	邦楽部	1	7	8	34	カフェ・サークル Ｌｅ Ｌｉｅｎ	46	53	99
6	室内楽団	2	6	8	35	Bio Record(標本作製サークル)	9	3	12
7	写真部	19	19	38	36	計算研究会	22	0	22
8	合唱団	10	18	28	37	トラッパーズ	11	1	12
9	ESS	2	0	2	38	aquri-M	11	2	13
10	軽音楽部	62	50	112	39	三重創生ファンタジスタクラブ	22	30	52
11	ピアノ同好会　KLUB KLAVIER	21	14	35	40	忍者部	18	7	25
12	表千家茶道部	5	14	19	41	ESD-SDGS	4	6	10
13	裏千家茶道部	3	10	13	42	DOT	7	16	23
14	TRPG同好会	34	13	47	43	競技かるたサークル	7	23	30
15	創作活動サークル　リカゲル	14	24	38	44	YouTubeサークル-ぽnds-	4	1	5
16	囲碁・将棋部	23	1	24	45	オカルト研究部	9	6	15
17	HELLO FM!!	12	8	20	46	法学研究会	15	5	20
18	献血推進サークル“ヴァンパイア”	2	13	15	47	美術部	2	2	4
19	エレクトーンサークル23-tow・three-	5	12	17	48	BBS(教育ボランティア)	11	41	52
20	万葉旅行の会	5	2	7	49	コスメサークル　ROUGE	0	16	16
21	音楽サークルB ｂ	41	21	62	50新規	銭湯サークル	4	0	4
22	かめっぷり	19	16	35	51新規	魚食サークルMarisco	6	3	9
23	劇団アディスト(演劇)	5	14	19	52新規	学生団体FORTUNE	9	10	19
24	ねこサークル	17	29	46	53新規	教職サークル『ぼーろ』	2	5	7
25	天文サークル　SOLA	86	45	131	54新規	バーチャルキャンパス(MUVC)	44	19	63
26	ぶるさぁ。(アンザンブルサークル)	22	29	51	55新規	哲学研究会	3	1	4
27	Pioneer(アカペラ)	18	18	36	56新規	Internationai　Group	12	8	20
28	アンビシャスカード(マジック)	29	10	39	57新規	Organicrops	8	1	9
29	食農サークル　農らく	1	3	4		合計(文化系・全学)　57	827	878	1705

文化系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	東洋医学研究会	21	19	40	8	小児科訪問ボランティアサークルぞくよん	7	38	45
2	医学部軽音楽部	17	20	37	9	MUSH(Mie University Students Helper)	14	4	18
3	Session サークル BAG	22	21	43	10	JAZZ BAR	3	1	4
4	きゅうめい部	28	35	63	11	すずみえ(慢性疼痛・多職種連携勉強会)	9	3	12
5	U-Cam	0	3	3	12	学生国際協力団体 HeartsTree	2	8	10
6	よき医療者をめざす学生研究会	34	19	53	13	しまうま	3	1	4
7	MIE-project	2	6	8		合計(文化系・医学部)　13	162	178	340

令和4年度クラブ・サークル数　142	男	女	計
	2574	1987	4561

V 学生相談センター

令和4年度　活動報告

1 相談・援助活動

(1)相談体制の整備

本学では色々な相談窓口が設置されてはいるものの、以前から、学生がどこにまず相談に行くべきか悩んだり、対応すべき窓口が異なっていて解決までに時間がかかったりするなどの状況があった。

こうした問題に対処すべく、当センターと各学部との間で意見交換を行ったところ、各学部から「まずは新たな制度を立てるのではなく、既存の『学生指導・支援担当教員制度』等の相談体制制度を効果的に活用することが重要」、「『学生指導・支援担当教員』の大学HPにおける広報が、階層の深いところでなされているので、分かりやすい位置にアイコンを作るなどの工夫をしてはどうか」、「(大学HPに掲載された)既存の『学生指導・支援担当教員』のリストに学部独自の相談窓口や学務担当の連絡先を追記した上で、『各学部窓口』という名称の項目を立ててはどうか」との御意見を頂いた。

そこで、学部ごとに、毎年度当初行われる「学生指導・支援担当教員名簿」の更新に加えて、大学HPに掲載することを前提に、「各学部の相談窓口」(学生に周知する事務担当の窓口)、「よくあるお問い合わせについて(Q&A)」、その他相談窓口に関する案内といった内容の記載を検討いただくよう依頼した。その後、各学部から提出された原稿をもとに、大学HP「在学生向けページ」において「各学部の相談窓口」というバナーを設定することになった(下図参照)。

今後も引き続き、各学部とのより良い連携の在り方を検討するために、こうしたバナーを設置した効果や影響、また各学部窓口での相談対応の実際について確認していく必要があると考える。さらには、今回掲載された各情報では対象とされていない大学院生への対応についても検討を続ける必要があるものと考える。

「各学部の相談窓口」のバナーが掲載された大学HP(在学生用ページ)

(2)来談者に関する統計(令和5年3月末日現在)

	新規相談受付						案内	Co.による継続面接	その他の継続対応	総計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計				
4月	5	5	0	0	0	10(8.2)	91(129.2)	18(19.6)	32(35.4)	151(192.5)
5月	8	7	3	2	0	20(11.4)	81(46.0)	27(25.6)	39(42.0)	167(125.0)
6月	3	7	3	0	1	14(12.4)	42(40.6)	32(30.8)	19(42.0)	107(125.8)
7月	3	5	2	1	0	11(11.0)	47(30.0)	33(31.4)	32(45.6)	123(118.0)
8月	5	2	3	2	0	12(8.2)	39(26.8)	17(15.6)	14(36.4)	82(87.0)
9月	2	3	5	0	0	10(8.6)	34(36.4)	19(27.4)	44(50.6)	107(123.0)
10月	3	1	0	1	0	5(9.0)	49(35.4)	23(31.6)	45(39.4)	122(115.4)
11月	0	6	2	2	0	10(11.8)	46(30.4)	26(31.8)	26(40.2)	108(114.2)
12月	5	6	3	1	2	17(9.0)	49(24.0)	27(27.8)	39(37.4)	132(98.2)
1月	5	4	0	0	0	9(9.2)	48(40.8)	31(29.2)	61(53.6)	149(132.8)
2月	4	1	0	0	0	5(5.2)	32(23.4)	27(26.0)	42(38.2)	106(92.8)
3月	5	1	3	1	0	10(5.8)	41(28.4)	32(23.6)	52(42.4)	135(98.0)
合計	48	48	24	10	3	133(109.8)	599(491.4)	312(320.4)	445(503.2)	1489(1422.6)

※数字はいずれも延べ人数を示す。
※「Co.」は心理カウンセラーを指す。
※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。
※「案内」は事務的な案内や比較的軽微な相談等、およびピアサポーターによる相談対応件数の総数を示す。
※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。
※カッコ内は、当該項目の直近5年間における平均値を示す。

【今年度の相談活動について】

総計(1489件)は、過去5年間の平均値よりやや多かった。特にコロナ禍(R2,R3年度)以降、総計の数値は高く推移しており、引き続き同様の傾向がみられているものと考える。

「案内」(599件)は、過去5年間の平均値と比べ100件程度多く、こちらもコロナ禍の中で高い数値を示すようになった傾向が、現状でも引き続いているものと考えられる。軽微な相談、質問にも応じてもらえるという「なんでも相談室」としての機能が、コロナ禍を経て学生らの中で益々定着しつつあるのではないだろうか。

「Coによる継続面接」については、直近5年間の平均値よりやや劣るが、コロナ禍であった昨年度(263件)、一昨年度(287件)と比べると若干増えており、カウンセリングルームとしての機能も少しずつ以前の水準に戻りつつあると言えるだろう。

「新規相談受付」数は、直近5年間の平均値よりも高く、中でも最高値であった昨年度(134件)と同程度であった。その内訳について、直近5年間の平均値および昨年度の数値と比較してみると、「教育」相談(修学環境に影響が出ている相談)の割合が相対的に増えていた(直近5年間平均35.0件:昨年度38件)。先述の「Coによる継続面接」数が増えていることと合わせて考えると、修学環境にまつわる様々なトラブルに関連して、複数回の継続面接を行うような比較的重篤なケースが増えたということかもしれない。一方で、「心理」相談(自身の性格やメンタルヘルスにまつわる相談)の割合は相対的に減っており(直近5年間平均48.8件:昨年度63件)、コロナ禍にまつわる不安等が一段落したということかもしれないが、より精緻な分析が必要であるとも考える。

なお、先述のとおり、「各学部との連携」の一環として今年度より大学HP上で、「各学部の相談窓口」というバナーを設置して、各学部でも各種相談に対応可能である旨の広報を行うようにしたが、その効果については検証できていない。各学部の学務担当の方に聞き取りするなどして、次年度以降改めて確認する必要があるものと考える。

(3)ピアサポーターによる活動

＊「新入生なんでも相談会」【4月】

【活動内容】

主に新入生を対象とした相談活動。履修相談から大学生活の悩みまで幅広い相談に“なんでも”対応する企画である。前年度では行えなかった対面での相談活動が可能となり、コロナ対策を十分に行いながらの開催となった。

【メンバーの関与】

合計延べ10名程度参加。

【企画参加者】

4/5(火)会場20名。4/6(水)会場34名。4/7(木)会場12名 屋外29名。計95名。

＊「さいころトーク」【4月】／「脱出ゲーム」【6月】

【活動内容】

いずれも、主に新入生どうしの交流の場を提供することを目的とした企画。「さいころトーク」は、あらかじめサイコロの目によって話し合うテーマが設定されており、2人1組でその目に応じたテーマについて話し合うといった内容であった。「脱出ゲーム」は、ピアサポートルームの戸締まりをするための鍵を見つけて部屋から脱出してもらう、という設定で、参加者に様々な謎解きに挑戦してもらうといった内容であった。

【メンバーの関与】

(さいころトーク)合計延べ26名が参加。

(脱出ゲーム)合計延べ15名が参加。

【参加者】

(さいころトーク)3日間開催した各回において10名程度。

(脱出ゲーム)2日間開催。初日6名。2日目2名。

＊YouTubeライブによる「ピアサポスタディLIVE」の配信【7月、2月】

【活動内容】

前後期の期末テストについて、テスト勉強や課題に取り組むモチベーションの向上、それらについての情報共有の場とすることを目的に、ピアサポートルームでメンバーが勉強している様子を配信し、画面越しで参加者も一緒に勉強に取り組む(コメント欄にて質問や相談も受け付ける)という活動を展開した。2月開催の際は、国際交流スペースにて対面形式で一緒に勉強する活動も加えた。

【メンバーの関与】

合計で10名程度参加。

【参加者】

各回それぞれ数名程度。

＊ぴあのわ(全国大学ピアサポーター合同研修会)への参加【3月】

【活動内容】

3月11・12日に、「全国大学ピアサポーター合同研修会　ぴあのわ2022in東京」が開催された。初日は「分科会」「各校の活動紹介」「交流会」、2日目は「全体会(講演・パネルディスカッション)」が行われた。

【メンバーの関与】

メンバー7人が参加した。

【参加者】

ぴあのわには、本学を除くと、主催校の東京大学・東京工業大学・東京医科歯科大学をはじめ、愛媛大学、京都大学、高知工科大学、神戸学院大学、筑波大学、中央学院大学、東北工業大学、奈良大学、白鴎大学、北海道大学、北見工業大学、北星学園大学、名古屋大学の各ピアサポーターらが参加した。

その他、以下のような活動も行った。

＊「履修登録のススメ」(先輩の1年次の時間割をSNSで公開する企画)【4月】

＊ピアナビ(活動紹介冊子)の制作【4月】

＊CPS/SA資格取得に関する広報(キャリア系授業の中で)【4月】

＊学長との懇談会【5月】

＊オープンキャンパスにおける来場者のツアーガイド(入試チームより依頼)【8月】

＊アカデミックフェア2022におけるポスター発表(活動紹介)及び全体の進行役の担当【11月】

＊OBOGとの交流会【2月】

＊年間38回(3月23日現在)のランチミーティング

2 教育・広報活動

(1)教育活動

授業の担当(いずれも鈴木によるもの)

教育学部	前期	「家族システム支援論」
教養教育	前期	「ピアサポート実践」※副担当に風間惇希講師(障害学生支援センター)
教養教育	後期	「こころのサポート」
教養教育	後期	「学生生活支援実践」
教養教育	後期	「ピアサポート実践」※主担当は風間惇希講師(障害学生支援センター)

(2)広報活動

①教職員研修(FD・SD)

・人文学部FD講演会　「学生対応の諸問題とストレス対処」
鈴木が講師を担当【令和4年9月14日】

・生物資源学部 学生委員会主催　就学指導相談会
鈴木が講師を担当【令和5年3月9日】

②広報

・大学ホームページを用いたピアサポート活動に関する広報

・ユニパ(全学配信メール)を活用した学生に対する相談室広報

3 研究・研修・講演・地域連携

(1)研究

・日本ブリーフサイコセラピー学会　第32回東京オンライン大会ワークショップ「サイコセラピーとスピリチュアルの統合への試み～システムズアプローチとP循環療法～」に鈴木が参加。
【令和4年6月5日:オンライン】

・日本学生相談学会第40回大会にて鈴木が研究発表(題目:コロナ禍が大学ピア・サポート活動に与えた影響　－各団体のリーダーに対するアンケート調査から－)。
【令和4年5月7日-8日:大阪大学】

(2)研修(および学生相談に関する情報収集)

・第60回全国学生相談研修会(主催:日本学生相談学会)に鈴木が講師として参加。
【令和4年11月20日、21日:オンライン】

・第56回全国学生相談研究会議webシンポジウム(主催:全国学生相談研究会議)に鈴木が参加。
【令和5年1月30日:オンライン】

(3)講演・地域連携

・三重県立看護大学　ハラスメント防止等に係る研修会(学生対象)
テーマ「大学生とハラスメント」　(鈴木)【令和4年4月5日】

・横浜市立大学　現代若者の心と行動を考える研究会(教職員有志の学内勉強会)
テーマ「大学における学生ピアサポートの経験と課題」　(鈴木)【令和4年7月12日】

令和4年度　学生相談センタースタッフ

センター長	野崎　哲哉	(学生総合支援機構副機構長:副学長)
副センター長	鈴木　英一郎	(学生総合支援機構　講師)
兼任教員	片岡　三佳	(医学部　教授)
	宮﨑　多恵子	(生物資源学部　准教授)
カウンセラー	藤川　和	(非常勤)
	髙﨑　順子	(非常勤)
	藤野　京華	(非常勤)
	林　真寿美	(非常勤)
インテーカー	浮田　めぐみ	(事務補佐員)

Ⅵ 障害学生支援センター

令和4年度　障害学生支援センター活動報告

1 障害等のある学生に関する相談支援

表1に2022年度の障害等のある学生に関する相談件数及び対応人数を示した。相談件数は519件であり、延べ人数は957名、実人数は181名であった。そのうち、教職員からの相談件数は354件、延べ人数は614名、実人数は104名であった。障害等のある学生の延べ人数は278名、実人数は49名であった。

表1 令和4年度障害のある学生に関する相談件数及び対応人数

	相談対応件数				相談者延人数				相談者実人数			
		学生	教職員	その他		学生	教職員	その他		学生	教職員	その他
4月	36	19	31	4	79	19	56	4	36	9	24	3
5月	48	23	29	5	70	23	42	5	28	10	15	3
6月	51	23	32	7	83	23	53	7	37	7	27	3
7月	24	11	13	1	44	11	32	1	20	3	16	1
8月	22	14	15	2	58	14	42	2	14	2	10	2
9月	41	20	36	2	68	20	46	2	27	7	18	2
10月	30	20	16	1	35	20	16	1	13	8	4	1
11月	48	29	35	3	96	29	64	3	36	10	23	3
12月	42	25	36	1	88	25	62	1	27	8	18	1
1月	51	25	41	6	118	25	87	6	42	7	32	3
2月	46	23	28	5	64	23	36	5	28	8	16	4
3月	80	46	42	30	154	46	78	30	66	20	33	13
合計	519	278	354	67	957	278	614	67	※181	※49	※104	※28

※実人数は、令和4年度の年間実人数であり、合計で示さない。
※学生：障害のある可能性を考慮しながら対応している学生を含む。
※その他：保護者、学外機関担当者

2 現場への支援機器（AT）導入を目的とした「ATライブラリー」の充実

・ATライブラリーに係る各種支援ツールの整備を行い、支援ツール一覧冊子の作成やホームページの改修等を行った。

3 三重大学における障害学生支援の機能強化・拡充

・障害学生支援センターと各部局選出の監督者及び学務担当係長等によって構成される「障害学生支援調整会議」を5回実施した。全学の支援状況に関する情報交換をはじめ、合理的配慮の実施状況に関するモニタリング調査の結果報告および事例の蓄積を行った。
・学内外の連携強化や障害学生支援に関する理解啓発のため、障害学生支援に係るe-Learningを実施し、教職員の参加率は評価指標である80%を超えた（82.7%）。
・障害を理由とする差別に関する紛争解決の体制を整備し、教育コーディネーターを中心に「三重大学における障害を理由とする差別に関する紛争解決委員会規程」及び「三重大学における障害を理由とする差別の解消に関する第三者委員会規程」を作成した。

4 学内関係部局および外部関係機関等との情報交換の推進

・東海地区にある国公私立大学の障害学生支援担当者が集う「第10回東海地区障害学生支援フォーラム大会in三重大学」（ハイブリッド形式）を開催し、48名がシンポジウムと分科会に参加した。上記フォーラムのシンポジウム企画「外見からは分かりにくい発達障害・精神障害の理解と支援のエッセンス～支援者・教育者としての感度を高めるために～」は、学内向けに「障害学生支援セミナー2022」としてオンラインで公開され、本学の教職員44名が視聴した。（9月9日）
・障害学生支援センター、キャリアセンター、学生相談センター、ハローワーク津、三重県自閉症・発達障害支援センター、三重県障害者職業センター、若者就業サポートステーションみえの担当者が参加する「障害のある学生の就職支援に関する連携会議」を2回実施し、障害のある学生の就労支援に関する現状共有及び支援に関する意見交換を行った。（9月15日、2月13日）
・アクセシビリティリーダー育成協議会の第53～56回総会が開催され、今年度のアクセシビリティリーダー育成プログラムに関する検討や参画する各大学等の支援状況に関する意見交換を行った。（6月17日、9月16日、12月23日、3月3日）
・発達障害を中心とした就労支援を行う株式会社エンカレッジ及びキャリアセンターとの共催企画として、就職活動やインターンシップになかなか一歩を踏み出せない学生の自己理解や、仕事に対する不安の解消等を目的とした「三重大学『オンラインしごと体験』講座」を開催し、本学学生7名が参加した。（11月4日）

5 ACS学生委員会に所属する学生サポーターの支援技能を養成

・共通教育科目「現代社会理解実践（障がい学生支援実践）」の授業を開講した。受講者は82名であった。
・ACS学生委員会を組織し、10名の学生が委員会活動に参加した。
・ACS学生委員会や障がい支援に関する情報を発信する壁新聞企画「ACSのねえ知ってる？」の第3号（5月）・第4号（10月）・第5号（2月号）を作成、発行した。
・学生が悩み等をノートに書き込み、ACS学生委員会のサポーター学生がその投稿に答えていく企画「お便りノート」を実施した。
・教養教育科目「現代社会理解実践（障がい学生支援実践）」にて、手話のゲストスピーカーとして招聘している高原正直先生をお招きし、サポータースキル養成を目的とした「手話勉強会」を開催した。（2月9日）
・障害支援に関する知識習得を目的として、アクセシビリティリーダー育成協議会が提供するアクセシビリティリーダー育成プログラムのオンライン講座を受講した。今年度は学生1名が第17期アクセシビリティリーダー認定試験（2級）を受験し、合格した。

6 その他

・障害学生支援センター教員が、東海地区障害学生支援フォーラムの役員として運営に携わった。今年度本学で開催された「東海地区障害学生支援フォーラム第10回大会」に関する調整や、各大学での支援状況及び課題に関する意見交換を行った。

三重大学障害学生支援セミナー2022 実施報告

三重大学 学生総合支援機構
障害学生支援センター

2022年9月9日(金)に行った「障害学生支援セミナー2022」について下記の通り報告する。今年度は、本学で東海地区の障害学生支援担当者が集う「東海地区障害学生支援フォーラム第10回大会」が開催され、大会テーマは「外見からは分かりにくい発達障害・精神障害の理解と支援のエッセンス～支援者・教育者としての感度を高めるために～」であり、この「東海地区障害学生支援フォーラム第10回大会」のシンポジウム企画を、学内の教職員向けに「障害学生支援セミナー2022」として公開、開催することとした。

1 参加者内訳

(名)

学外関係者	2
学内関係者	53
計	55

2 学内参加者内訳

(名)

	人文	教育	医	工学	生物	イノベ	教養	その他	計
教員	10	6	1	2	8	2	1	7	37
事務	2	1	0	0	4	1	0	8	16
計	12	7	1	2	12	3	1	15	53

3 アンケート結果

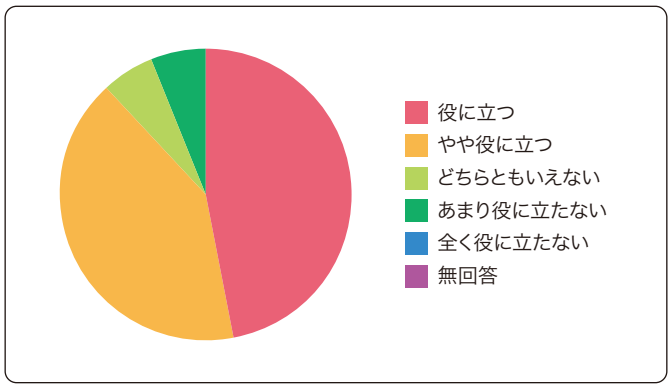
以下、セミナー時に行ったアンケート結果(回収数17名)について記載する。

①セミナーを知ったきっかけ(複数回答可)

学内会議	ポスター	E-mail	友人知人	その他	無回答	回答者数
7	1	16	0	5	0	17

②セミナーの内容が、今後の学生対応にどれくらい役に立つと思うか

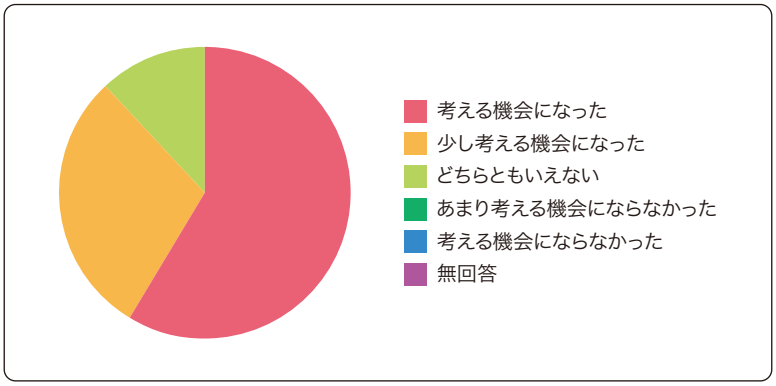
役に立つ	やや役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	全く役に立たない	無回答	計
8	7	1	1	0	0	17



③今回のセミナーについて

発達障害・精神障害（その兆候・傾向を含む）のある学生への支援・配慮について考える機会となった

考える機会になった	少し考える機会になった	どちらともいえない	あまり考える機会にならなかった	考える機会にならなかった	無回答	計
10	5	2	0	0	0	17



④講演についての意見や感想など　8件

・たいへん学ぶところが多かったです。ありがとうございました。後半、音声がききとりにくかったのが、少し残念でした。
・大変参考になりました。ありがとうございました。
・様々な事例を交えた話で，極めて役立つ情報を得られました。多くの教職員が参加すべきだと思いました（オンサイトはわかりませんが，オンラインは少なかったです）。ありがとうございました。このような機会をまた設けてほしいですし、継続的に行ってほしいです。
・オンライン（Zoom）側では、会場の音声が終始こもっている？ブレている？ような状態で、ほとんど聞き取れなかったのが残念でした。。。ただ、配布いただいた資料と照らし合わせながら何とか聞けた範囲からだけでも、個人的には十分に「障害学生支援」を改めて考えるきっかけがいただけたと感じています。お疲れさまでした。
・会場で登壇された先生方のお声が聞き取り難く残念でした（遠隔で参加された足立先生のお声はよく聞き取れました）。ハイブリッド方式は難しいですね。
・音声が聞き取りにくいと感じましたので、改善されればより良くなると思います。
・会場のマイクの声がzoomでは聞き取りにくかったです。
・話題提供②はよく聴こえましたが、その他は聴き取りにくい箇所が多かったです。通常の窓口対応をしながらの参加でしたので、抜けてしまった時間もありましたが、勉強になりました。今後も同じような機会がありましたら是非参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

Ⅶ SA(スチューデント・アシスタント)

SA(スチューデント・アシスタント)の取り組みをふりかえって

– SAとして活躍する先輩から学ぶ –

SA(Student Assistant)の取り組みとは、スチューデント・アシスタント資格を取得した学生を活用する学生支援施策である。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験をすることは自身のキャリア(生き方)に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と呼称し、学生個々人のその人らしさを活かした、ピア(仲間)を支援することを推進している。キャリア・ピアサポーターには、キャリア・ピアサポート(CPS)資格とスチューデント・アシスタント(SA)資格が設けられている。学生が支援に関連する様々な知識・技能・態度を高めることのできる講義・演習を一定数受講し、研修を受講することで、これらの資格を取得できるという資格教育プログラムが設置されている。

SA資格を取得するまでに、学生は、他者に対する学生支援(ファシリテーション)を実践的に学ぶ講義・演習科目(学習支援実践等)を必修科目として、単位取得しなくてはならない。更にSAとなる学生の力量を保証するため、e-leaning研修の受講及びグループワークへの参加・面談を経て認定される。SAとして、ただの授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促すファシリテーションや、受講生の学びをより深めるための支援が望まれている。本学では、教職員ではなく、学生同士、先輩だからこそできる学習支援、学生支援を目指しているのである。

学習支援実践という授業科目は、他者に対する学習支援実践を学びながら、先輩SAの学習支援やサポートを受けるという構造になっている。先輩SAからの学習支援やサポートを受けながらも、その支援の方法や内容等をモデルとして学ぶことができるのである。

令和4年度は、学内の先生方のご理解のもと6科目でSA14名を活用した授業が行われた。更にキャリアセンター関連イベントのサポートで6名の学生が活動しており、総勢20名のSAを活用することによる授業等の受講生への効果、さらにはSA自身への効果を先生方が感じてくださっていることを願いたい。

Table1　令和4年度SA採用者及びSA活用授業等

期間	授業名	学部	学年	人数
前期	こころのサポート	人文学部	3年	1名
		人文学部	3年	1名
	学習支援実践	人文学部	3年	2名
	ピアサポート実践	人文学部	3年	2名
後期	障がい学生支援実践	人文学部	4年	1名
	ピアサポート実践	人文学部	3年	1名
		教育学部	3年	1名
	学生生活支援実践	人文学部	3年	2名
	企業マインドの醸成	人文学部	4年	1名
	こころのサポート	人文学部	3年	1名
		人文学部	4年	1名
	(CPS)学生委員会(仮称)	人文学部	3年	1名
	設立に向けた説明会	人文学部	4年	1名
		工学部	3年	1名
	CPS学生委員会	人文学部	3年	1名
	キックオフミーティング	人文学部	4年	1名
		工学部	3年	1名
			合計	20名

これからの人生に役立つスキル、身につけてみませんかー！！

キャリア・ピアサポート（CPS）資格取得ガイド

2023年度 入学者用

STEP ❶ キャリア・ピアサポート資格を知る

三重大学では「学生自身の活動を通じた学生支援」を積極的に奨励する「キャリア・ピアサポーター」養成のため、所定の科目を履修し、研修を受けた学生に対して、学内資格である**『キャリア・ピアサポート（CPS）資格』**を認定しています。

『キャリア・ピアサポート（CPS）資格』取得者は

- **学生生活についての相談活動**
- **学生同士の交流、大学活性化又はキャリア支援を目的としたイベントの企画実施**
- **就学支援活動の企画実施**
- **学内機関又は学生団体とのコラボレーションの企画実施**

といった三重大学の活性化にもつながる様々な活動に参加することができます！
また、自ら行動する力が身につき、学部・学年を越えた仲間と出会うきっかけになります！
皆さんの申請、お待ちしております！

STEP ❷ 資格取得の事前申請をする

コース登録はこちら

資格事前申請方法

Moodle『キャリア・ピアサポート資格取得コース（2023年度）』のコース登録が必要になります。
※コース登録された場合、資格申請の為に、成績及び単位取得状況について確認されることに同意したとみなさせていただきます。

STEP ❸ 所定の科目を履修・研修を受ける

資格取得のためには、下記必須科目の履修と研修を受ける必要があります。

必修科目	●キャリア教育入門
＋	
研　修	①e-learning受講（30分）＋確認テスト ②グループワーク（90分程度）に参加・発表

認定された方に資格認定証を授与！
資格認定者の発表は、前期末申請については10月上旬、後期末認定については次年度4月上旬を予定しています。

履歴書に書ける資格です。
資格を取得し、活動した話は就職活動の面接でも活かすことができます！

裏面も要チェック ▶

SPECIAL STEP!!

キャリア・ピアサポート（CPS）資格を取得した学生は

スチューデント・アシスタント（SA）資格に挑戦できます！

資格取得のためには、下記必須科目の履修と研修を受ける必要があります。

CPS資格

＋

選択科目　右記から1科目以上取得
- ●学生支援実践
- ●学生生活支援実践
- ●ピアサポート実践

＋

研　修
①e-learning受講（30分）＋確認テスト
②グループワーク（90分程度）に参加・発表
③担当者による面談

スチューデント・アシスタント資格取得者にも

資格認定証を授与します！

資格取得を通して社会人としての「実践力」を身につけよう！

大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、知識量だけでなく、獲得した**知識に基づいた実践のための応用力が求められる**ようになります。しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。また、所定の科目を履修し、研修を受けた学生に対しては、**「キャリア・ピアサポート（CPS）資格」**、および**「スチューデント・アシスタント（SA）資格」**を認定します。

「キャリア・ピアサポート（CPS）資格」を取得した学生は、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、各種修学（授業）支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画、また「スチューデント・アシスタント（SA）資格」を取得した学生は、授業補助等で教員・学生のサポート役を担うなど、三重大学の活性化にもつながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。※ さらには、こうして学内の様々な現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポート（CPS）資格」「スチューデント・アシスタント（SA）資格」を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、あなた自身の「実践力」を伸ばしていきませんか。

※ これらの活動は、学内における様々なピアサポート団体によって行われている活動の一例です。

キャリア支援チームは保健管理センターの近くだよ！

三重大学学生支援機構
キャリアセンター（キャリア支援チーム）
総合研究棟Ⅱ 1階　開室時間：平日8:30～17:15
TEL 059-231-5396
E-mail syusyoku-ce@ab.mie-u.ac.jp
https://www.mie-u.ac.jp/life/career/students/cps.html

Ⅷ 学生総合支援機構主催行事

学生支援サミット2022

1 はじめに

三重大学では、「学生支援サミット」と名付けたイベントを毎年開催しています。これは、今後の三重大学の学生支援のあり方に関するビジョンを、学生・教員・職員がともに描き、共有し、それに基づいて三重大学の今後の学生支援のあり方を検討する目的で、平成24年度より始まりました。毎回、テーマを設定し、参加者はグループに分かれて意見を出し合い、それを全員で共有します。

本年度の「学生支援サミット2022」は、テーマを「学生・教職員が共に創る“学生支援”先進大学 ～コロナに負けない！三重大学を目指して～」に設定し、ウィズコロナ時代を生き抜く“学生支援”先進大学としての三重大学の形ついて考える機会として、本サミットを開催しました。今回は、学生総合支援機構を構成する各センターが担う領域を参考にし、(1)修学・学生生活支援、(2)キャリア支援、(3)課外活動支援、(4)こころやからだの相談支援・ ピアサポートの4つの領域を設定し、学生支援の各領域に求められる今後の在り方について、学生と教職員が協働してディスカッションを行い、アイデアの発表を行いました。本報告書は、この活動と成果をまとめたものです。

サミットにおいて提言された意見やアイデアを多くの方に知っていただき、学生生活環境の充実をはじめ、三重大学の発展の寄与につながる資料としてご覧いただけることを心よりお願い申し上げます。

また最後となりますが、学生支援サミットの企画・運営に関わりご協力を頂いた皆さま、当日参加し貴重なアイデアを出して頂いた学生・教職員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

学生総合支援機構
学生活動センター

2 学生支援サミット2022 概要

趣　旨

年に一度、三重大学の学生・教員・職員がともに大学をより良いものとして行くために協働して議論を行う機会として開催している。本年度は、テーマを「学生・教職員が共に創る“学生支援”先進大学 ～コロナに負けない！三重大学を目指して～」に設定し、ウィズコロナ時代を生き抜く“学生支援”先進大学としての三重大学の形ついて考える機会として、サミットを開催した。

目　的

①コロナ禍での経験を踏まえた学生支援とは何か、対面での大学生活と継続する感染対策にいかに対応するか等について、学生と教職員が主体的に検討する機会とする。

②三重大学での学習や生活、大学運営がより生き生きとした望ましいものにできるよう、全国的にも先駆的な「学生支援方針」を掲げる三重大学の支援実態の理解と今後の発展を目指して、学生と教職員が協働する意識を育む。

当日の内容

まずは導入として、これまでの三重大学における学生支援に係る動向、各センター(領域)からの活動紹介や後の活動での討論希望の内容に関する説明、その後の流れ等について説明を行った。その後、(1)修学・学生生活支援(担当:修学支援センター)、(2)キャリア支援(担当:キャリアセンター)、(3)課外活動支援(担当:学生活動センター)、(4)こころやからだの相談支援・ピアサポート(担当:学生相談センター、障害学生支援センター)の4つの領域ごとのブースに分かれ、各センターが提示した討論希望点等に関するディスカッションを学生と教職員で行った。ディスカッションの中で出た意見やアイデア、今後の活動に向けての展望等はブースごとにパワーポイントやワード等の資料にまとめ、その資料を用いた各ブースからの報告を行い、フロア全体での共有を行った。

主　催

三重大学 学生総合支援機構・学生活動センター

日　時

令和4年9月26日(月)13:00～16:00

参加申込者

三重大学講堂 小ホール

参加者

学生については、各学部への参加依頼等を通して募集した結果、合計45名の参加エントリーがあった。教職員については、学生総合支援機構や学務部等の関係教職員、合計20名が参加した。

当日のスケジュール

13:00～13:10(10分)	【開会の挨拶】 三重大学学長　伊藤正明
13:10～13:40(30分)	【導入】 ・学生支援サミットの概要や活動内容の説明(担当:風間) ・各センターからの活動紹介や後の活動での討論希望点の説明(担当:各センター)
13:40～14:45(5分)	移動・準備時間
13:50～15:15(85分)	【各ブースでの活動内容】 ・各領域担当のセンターによる支援体制やこれまでの活動に関する追加情報の提示 ・事前アンケートにて参加学生から募った質問や要望についての質疑応答 ・各センターが事前に用意した討論希望点、または直前の質疑応答で挙がった討論テーマに関するディスカッション ・全体報告に向けた内容のまとめ
15:15～15:50(35分)	【活動報告と全体での質疑応答】 ・各ブースでの活動報告 ・全体での質疑応答
15:50～15:55(5分)	【総括コメント】 教育担当理事・学生総合支援機構長　鶴原清志
15:55～16:00(5分)	【閉会の挨拶】 学生総合支援機構副機構長　野崎哲哉

3 当日の参加状況

学生・教職員の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生45名、教職員20名の合計65名であった。参加学生の所属学部の内訳は、人文学部・人文社会科学研究科8名、教育学部8名、医学部11名、工学部・工学研究科10名、生物資源学部・生物資源学研究科8名であっ た。

当日の各ブース構成

当日の各ブースの校正は以下の通りである。なお、参加学生には、事前にブースの割当て希望についてのアンケートを実施し、希望に基づいて割当てを行った。

ブース①

【修学・学生生活支援】(担当:修学支援センター)

…学生11名、教職員3名

ブース②

【キャリア支援】(担当:キャリアセンター)

…学生11名、教職員6名

ブース③

【課外活動支援】(担当:学生活動センター)

…学生11名、教職員4名

ブース④

【こころやからだの相談支援】(担当:学生相談センター・障害学生支援センター)

…学生12名、教職員3名

4 各ブースの活動報告

各ブースの発表内容

ブース① 修学・学生生活支援

学生支援サミット2022
2022.9.26（月）13:00～16:00

ブース①
「修学・学生生活支援」
活動報告資料

メンバー：太田芽生（人文学部３年）、堀川紗希（人文学部３年）
平井智子（人文社会学研究科M２）、浅井敬介（教育学部４年）、
島田直悠（医学部看護学科２年）、村上隼人（医学部看護学科２年）
中北　彩（医学部看護学科４年）、
黒木玲花（工学部４年）、阪口大河（工学研究科M１）
加藤沙耶香（生物資源学部４年）、古川優裕（生物資源学研究科M２）
大畠啓子、佐野智之、杉谷涼子（学生支援チーム職員）

支援ニーズについて①

「大学生活でみんなが目標にしていること、大学生活に求めること」
をそれぞれ考えて発表し、それらをグルーピングして傾向を考えました。
出て来た主な意見は、以下のとおりです。

- 国家試験、公務員試験などの勉強をしたい
- 語学の勉強をしたい
- 研究や実習に集中したい
- 友達・人脈づくりをしたい

支援ニーズについて②

みんなの意見を踏まえ、「あったら嬉しい支援」を他大学の例も参考にして、それぞれ考えて発表し、議論しました。主にあった意見は、以下のとおりです。

- 交流の場が欲しい
  学部内の縦の交流、他学部との交流、OB・OGとの交流
- 食の支援
  百円食堂（研究等に集中しようと思った時に食の支援はありがたい）
- ICT支援
  印刷費上限の撤廃、印刷できる場所を増やして欲しい、PDF編集ソフト導入費用補助
- 資格試験の受験費用や教材費用の支援
  合格したらとか条件付きで補助（モチベーションアップにもなる。）
- 多様な背景の学生のための奨学金　（制度の対象外になってしまうが困っている学生もいる。）

「あったらいいな」の制度企画書

「優先度」、「公平性」、「実現可能性」の観点で１つ選び、どんな制度があると良いかをみんなで話し合い、制度企画書を作成してみました。

◇制度名：TOEIC 600OVER

◇概要： TOEICの試験費用補助
６００点以上を取得した学生に対し、受験費用と教材費として１万円を支給する（一人一回限り）
※他の試験や言語など、対象については検討が必要かもしれない。

◇対象者： 学部３年生以上のTOEIC受験生

「あったらいいな」の制度企画書

「優先度」、「公平性」、「実現可能性」の観点で１つ選び、どんな制度があると良いかをみんなで話し合い、制度企画書を作成してみました。

◇制度名：朝カツ！！

◇概要：１コマ前の時間に食堂で勉強会を実施し、朝食代を大学から支援する。
※経済支援でもあり、交流の場の提供でもあり、モチベーションアップにもつながる効果が期待できる！寝坊しないし、頭がすっきりした時に勉強も捗るはず。

◇実施時期・期間：
４月と８月のテスト前
１０月と２月のテスト前

◇対象者：希望者全員

「あったらいいな」の制度企画書

「優先度」、「公平性」、「実現可能性」の観点で１つ選び、どんな制度があると良いかをみんなで話し合い、制度企画書を作成してみました。

◇制度名：縦コン！！！

◇概要：OB・OGを含む学部としての情報交流会を企画し、食事代を支援する。
※経済支援でもあり、交流の場の提供でもある。「情報」を得る場でもあり、「朝カツ！！」とは異なる効果が期待される。

◇実施時期・期間：９月連休に各学部で実施

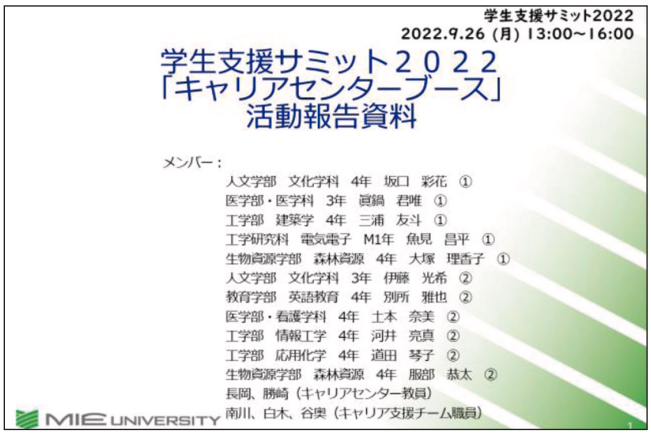
◇対象者：希望者全員

感想

➢学生から
金銭的支援については全学生に共通する興味・関心だと思った。今日話した支援が実現されるといいなと思った。

➢職員から
学生さんの支援ニーズやリアルなご意見を聞くことが出来て、とても参考になった。特に資格試験支援に関するご意見については、多くの要望があり、なるほどなと思った。時間の関係で発表資料にまとめきれなかったが、貴重で参考になるご意見が沢山あった。予算には限りがあるが、少しでも学生のニーズに応えられるように、今回の意見を参考に検討していきたい。

ブース② キャリア支援



キャリアセンターブースでの議論

キャリアセンターブースでは、これまでのキャリアセンターの利用の中で、利用して良かったイベントやサポートについての意見を交換し、

「後輩に届けたい就活サポート」

をテーマに、今後キャリアセンターに期待するサポートや、キャリアセンターに求めるものは何か、を議論しました！

○グループ①「後輩に届けたい就活サポート」

まずは、これまでのキャリアセンターの利用の中で、良かったイベントや、便利だったサポート、これまでのキャリアセンターとのかかわり方をそれぞれ発表しました。参加者からは、以下のような意見がありました。

【意見出し「これまでのキャリアセンターとのかかわり」】

- 大学に入って、やりたい事を見失っている。就活ガイダンスは受け身、民間企業が主催しているイメージがある。学生と企業を繋げる方に力点が行っているように感じる。学生そのものがキャリアを含めてどうしていきたいかを見つめる機会があればいい、それをサポートするような大学の取組みがあればよい。
- キャリア教育関連授業は受けていないが、受けた方がいいとは感じている。
- もっと早くキャリア教育について知っておけばよかった。
- インターンシップが卒業要件になったことについて、義務化しないと行かないということもあるが、もう少し主体的に行ける仕組みがあれば学びにつながると感じた。
- いざ就活となった場合、自分自身で自分の事をわかっていないことも多く、１・２年生からでも自分の事を考え直す機会があればよい。
- 低学年向けの企画をキャリアセンターでも考えている。
- 先生から教えてもらうというスタイルもよいが、学生主体の委員会等があればいい。→CPS学生委員会等

○グループ①「後輩に届けたい就活サポート」

【意見出し「これまでのキャリアセンターの利用でよかったこと」】

- 公務員を目指してたが、公務員講座に入っていない公務員志望の学生向けのサポートを、キャリアセンターが行っている事を知らなかった。詳しい実態（どんな相談内容があるのか等）を知れたら、第一歩を踏み出しやすいと感じた。
- あまりキャリアセンターを利用せず、どんなサービスを提供しているかを知らなかった。企業の探し方、業界研究が不足していると感じるので、どのようにやればよいのか、を知ることが出来ればよいと感じた。現状は、研究室の先輩等や、家族に話を聞いたりしているが、わからないこともある。
- 夏のインターンは複数行ったが、インターンシップも個別の専門分野によってやることが細分化しているため、全体論だけでなく、詳しい内容を事前に知りたかった。
- 公務員志望であったが、キャリアセンターでの面接練習は何回か利用した。ガイダンスや合同企業説明会は、日程が合わず、あまり参加できなかった。
- 全学部に共通するものとして、マナー研修等があればよいと感じた。→IS事前研修会やIS入門等でもあるが、イベントとして別途あればなおよい。
- インターンシップは、キャリアセンター経由だと手続きや書類が少し煩雑なこともあり、自由応募とすることもあった。受けられる恩恵と手間がある。

○グループ①「後輩に届けたい就活サポート」

また、キャリアセンターの利用の中で、こんなサービスや、取組があればよいのに、という要望を、それぞれ発表しました。

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】

- 低学年向けのガイダンスを実施する（業者を使わずにキャリアセンター主催で）
- 学生主体ということをキーとして、イベントを開催してもらえれば、情報がすんなり受け取りやすいということはある。例として、情報の多さ、偏りはあるが、先輩等から聞いた情報の方が、受け取りやすいということもある。
- キャリアセンターと日常からの接点があった方が利用しやすい。キャリアセンターに学生が入れるスペースが欲しい。例えば、テレキューブの前など。そこで、学生による学生に向けたコーチング等もできたらよい。学生だけだとできないこともあるので、うまくセンターを利用しながら共創できればよい。

○グループ②「後輩に届けたい就活サポート」

まずは、これまでのキャリアセンターの利用の中で、良かったイベントや、便利だったサポートをそれぞれ発表しました。参加者からは、以下のような意見がありました。

【意見出し「これまでのキャリアセンターの利用でよかったこと」】

- テレキューブはとてもよかった。
- カウンセラーが2名いるのはとてもよかった。
- 学内企業研究会については、オンラインは気軽に参加できること、対面は得られる情報が多い事など、それぞれの良さがあるが、良い取り組みであると感じた。

○グループ②「後輩に届けたい就活サポート」

また、キャリアセンターの利用の中で、こんなサービスや、取組があればよいのに、という要望を、それぞれ発表しました。

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】

- 案内のメール等については、情報伝達の方法を整理してほしい。
- コースごとや、直属の先輩がどのような就活をしたかについて知りたい。専門的な分野についての情報が欲しい。分野によっては、学生同士のつながりで得られる情報にも限界がある。
- 就職だけでなく、起業などキャリアプランとしての選択肢を増やして、視野を広げるようなサポートが欲しい。
- 様々なイベントなどがあるのはわかるが、どれが大事な情報かわからない。メールなど情報の伝達については、分野等選択制にしてほしい。
- ガイダンスや合同企業説明会は、日程が合わず、あまり参加できなかった。

最後に（まとめ）

全員で議論を深め、これまでの議論を展望やアイデアの形に落とし込みました。

【学生目線に立った「こうすれば三重大学はよくなる！」アイデア】

グループ①学生と職員の共創による開かれたキャリアセンター

グループ②「視野を広げる」＋「キャリア全体のきめ細やかなサポート」を！

ブース③ 課外活動

学生支援サミット2022
2022.9.26（月）13:00～16:00

ブース③
「課外活動支援」
活動報告資料

話し合ったテーマ①「サークル間の情報共有」

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】
・サークル活動の施設の不備報告をする匿名掲示板（学内限定）
・学内で活動できる場所・時間の制限（全学・医学）について
　→ルールをオープンにして掲示する。
・moodleやアナログの掲示板使用
・連絡会の有効活用
（現状では職員からの報告がメインであるが、学生から事前に問題提起をしてもらい、それに対しての回答をしてほしい。）

話し合ったテーマ①「サークル間の情報共有」

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】
・他の部活団体との連絡方法
・学内施設の修理について（予算の関係→優先順位を決める。）
・学内施設の利用状況を公表してほしい。（HPに掲載する。）

ブース④　こころやからだの相談支援・ピアサ ート】

学生支援サミット2022
2022.9.26（月）13:00～16:00

ブース④
「こころやからだの相談支援・ピアサポート」
活動報告資料

話し合ったテーマ①「障害について」

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】
- しょうがいの表記：どれか一つにまとめた方がよい。当事者からの漢字への反対の声が大きいなら、ひらがなの方がよいのかもしれない。
- なぜ「しょうがい」なのか考える機会になる。
- 新しい言葉を作り出してはどうか（かっこいい言葉）。ポジティブな表現がよい。すべき支援を見極める。

話し合ったテーマ②「相談窓口について」

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】
- 研究室にポスターで周知する。
- 相談窓口では匿名の相談がよい。ハードルが下がる。
- グレーゾーンの学生に分かりやすい周知をする。アプリでおおよその相談内容を振り分けるとよい。
- 三重大版マップを作り、分かりやすい場所の周知をするとよい。
- いろいろな情報をひとつにまとめたアプリがあるとよい。

話し合ったテーマ③「不登校について」

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】
- 各授業3回無断欠席をしたら、担当部署へ連絡する。

話し合ったテーマ④「ピアサポ・ACSについて」

【学生や教職員から出た意見・要望・今後に向けたアイデア】
- 3年生から入りやすいコミュニティがあればよい。
- ピアサポの定義をわかりやすくしてほしい。
- どんな人が活動しているか情報がほしい。
- 相談に行ったら部活の勧誘をされた。やめてほしい。
- 何をしているところか、場所もわからない。学食で広報するとよい。先生を招聘し膝をつき合わせたゆるい授業をしてほしい。
- OB・OGの繋がり（就職のコンテンツ）を作ってほしい。

最後に・・・

【学生目線に立った「こうすれば三重大学はよくなる！」アイデア】

■「『しょうがい』の表記」
どれか一つにまとめた方がよい。当事者からの漢字への反対の声が大きいなら、ひらがなの方がよいのかもしれない。なぜ「しょうがい」なのか考える機会になる。

■「相談窓口」
いろいろな情報をひとつにまとめたアプリがあるとよい。

■「ピアサポ・ACS」
- 先生を招聘し膝をつき合わせたゆるい授業（座談会のような）をしてほしい。
- OB・OGの繋がり（就職のコンテンツ）を作ってほしい。

学生支援サミット2022 学生・教職員が共に創る“学生支援”先進大学 ～ コロナに負けない！三重大学を目指して ～

2022年9月30日

9月26日(月)、「学生支援サミット2022 ～学生・教職員が共に創る“学生支援”先進大学 ～コロナに負けない！三重大学を目指して～」を開催しました。

本サミットでは、学生・教職員が協働しながらディスカッションを行い、より良い三重大学となるよう考えていく貴重な機会として、学生総合支援機構主催で毎年開催されているイベントです。本年度は3年ぶりに対面形式により学生・教職員合わせて65名が参加しました。①修学・学生生活支援②キャリア支援③課外活動支援④こころやからだの相談支援・ピアサポート、の4つの学生支援の領域を設定し、学生総合支援機構障害学生支援センターの風間惇希講師の進行のもとサミットが行われました。

冒頭、伊藤正明学長から「学生と教職員の皆さんが、三重大学を“学生支援”先進大学にするために今後のあり方を一緒に検討することは非常に重要。しっかり議論をしていただき、皆さんの意見を三重大学の教育、学生支援の方針に生かしていきたい。」と開会の挨拶がありました。

各ブースの担当教職員から活動内容の紹介、また風間惇希講師から進行等について説明があり、学生は教職員を含めた4つのブースに分かれ、ディスカッションを行いました。その後、各ブースの活動報告が行われ、各領域における現状から学生目線による新たな提案が多数発表されました。

発表後、鶴原清志教育担当理事から「本日出された意見から、可能なものは最大限支援をしていきたいが、ただ要望するだけではなく、学生皆さん自身の活動・協力により実現に結び付けるという視点を持って提案してほしい。今回の交流で終わるのではなくこの仲間を大 事にして、三重大学の発展のために継続して取り組んでほしい。」と総括がありました。

最後に、学生総合支援機構副機構長の野崎哲哉教育（学生総合支援）担当副学長から「学生支援は皆で創るものという気持ちを共有して一緒に活動してほしい。また、大学の諸課題に対する優先順位を決めるため、学生の意見を聴き、ディスカッションする場を年4回設けることを計画している。今回のサミットをスタートとして、本日参加の皆さんを始め多くの学生に呼びかけるので、是非参加して主体性・創造性の中で有意義な学生生活を送ってほしい。」と閉会の挨拶がありました。

学生・教職員の対面による積極的なディスカッションが行われ、大変有意義なサミットとなりました。

三重大学学生総合支援機構
ホームページ
http://www.mie-u.ac.jp/life/

国立大学法人 三重大学
問い合わせ先／学生総合支援機構
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL：059-231-9679

三重大学life click